テレビを設置する

各部のなまえ

リモコン

画面表示ボタン 133
電源ボタン 92
赤ボタン 102
青ボタン 102
テレビ / ラジオ / データボタン 100
メニューボタン 50
番組表ボタン 108
決定ボタン 52
べんりボタン 97
CS デジタルボタン 94
BS デジタルボタン 94
チャンネルボタン 92
かんたん選局ボタン 102
チャンネル番号入力ボタン 95
ワイド切換ボタン 105
映像モードボタン 128

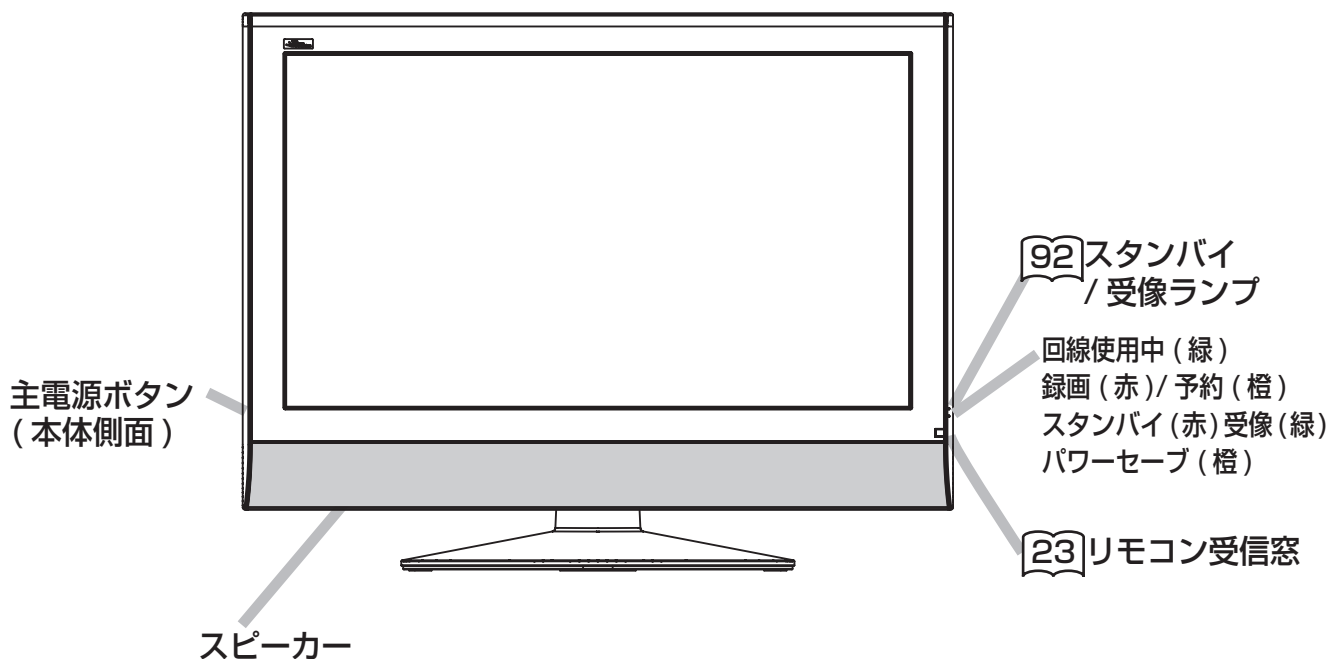
99 音声切換ボタン
112 入力切換ボタン
102 緑ボタン
102 黄ボタン
98 ⓓ連動データボタン
101 番組説明ボタン
105 戻るボタン
50 カーソル
136 スイーベルボタン
113 PC ボタン
92 地上アナログボタン
94 地上デジタルボタン
92 チャンネルアップ / ダウンボタン
92 音量ボタン
95 枝番入力ボタン
132 消音ボタン
101 チャンネルリターンボタン
135 オフタイマーボタン

電源
画面表示　音声切換　入力切換
青　赤　緑　黄
テレビ/ラジオ/データ　番組表　番組説明　ⓓ連動データ
メニュー　戻る
決定
べんり　スイーベル
PC
BS　CS　地上デジタル　地上アナログ
NHK 1　NHK 2　NHK h
1　2　3
BS日テレ　BS朝日　BS-i
4　5　6
チャンネル
BSJ　BSフジ　WOWOW
7　8　9
スターチャンネル　枝番入力　音量
10　11　12
かんたん選局　CH番号入力　CHリターン　消音
*　#
ワイド切換　映像モード　オフタイマー
デジタルテレビ
HITACHI
C-H18

メ　モ

参照ページマークについて

マークは、取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

本体　前面

お知らせ

録画 / 予約ランプについて

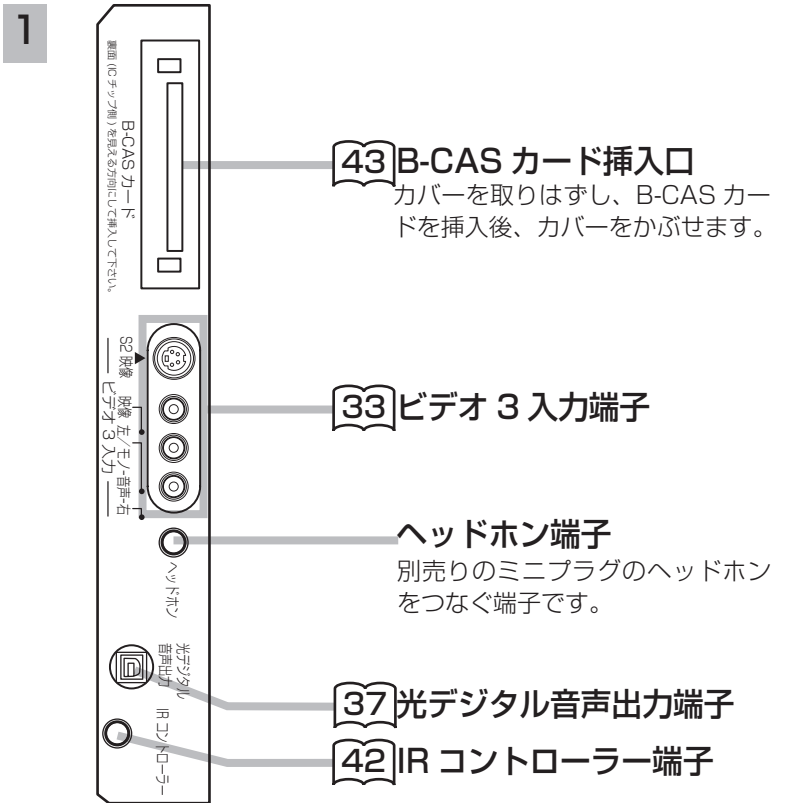
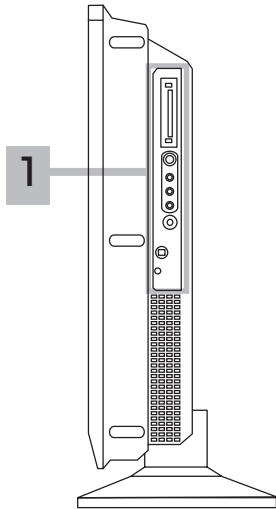
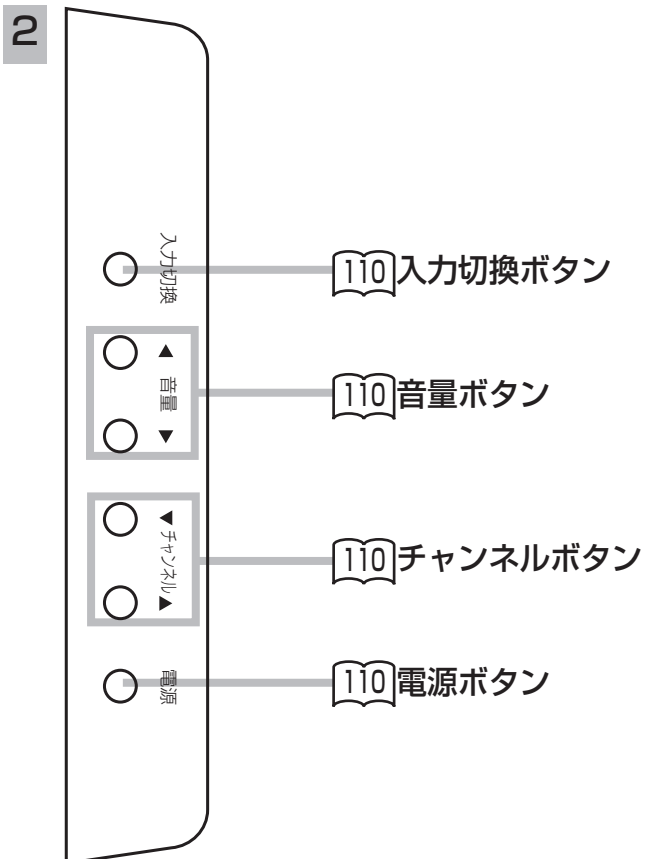
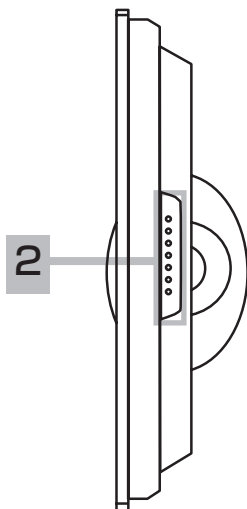
●本機の「回線使用中」のランプが点灯している場合は、電話機をご使用にならないでください。
本機からの通信が正しくできないことがあります。

●予約が実行されると録画 / 予約ランプが橙色に点灯します。
ただし、録画予約実行中は赤色に点灯します。

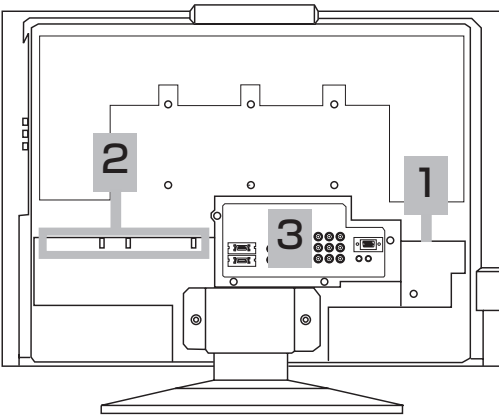
操作ができなくなった場合は

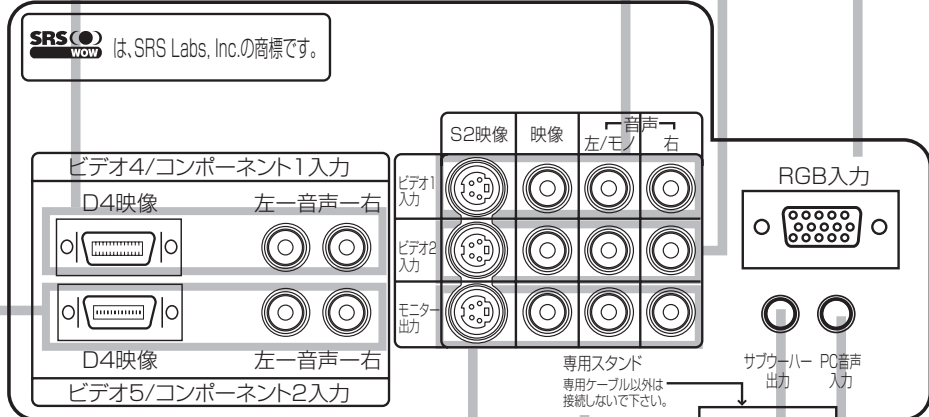
本体の主電源ボタンで電源を「切」にし、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから再度主電源ボタンを押してください。

各部のなまえ

本体　側面

本体　上面

将来発売予定の機器との接続

テレビ関連機器の中には、現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使い方など、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

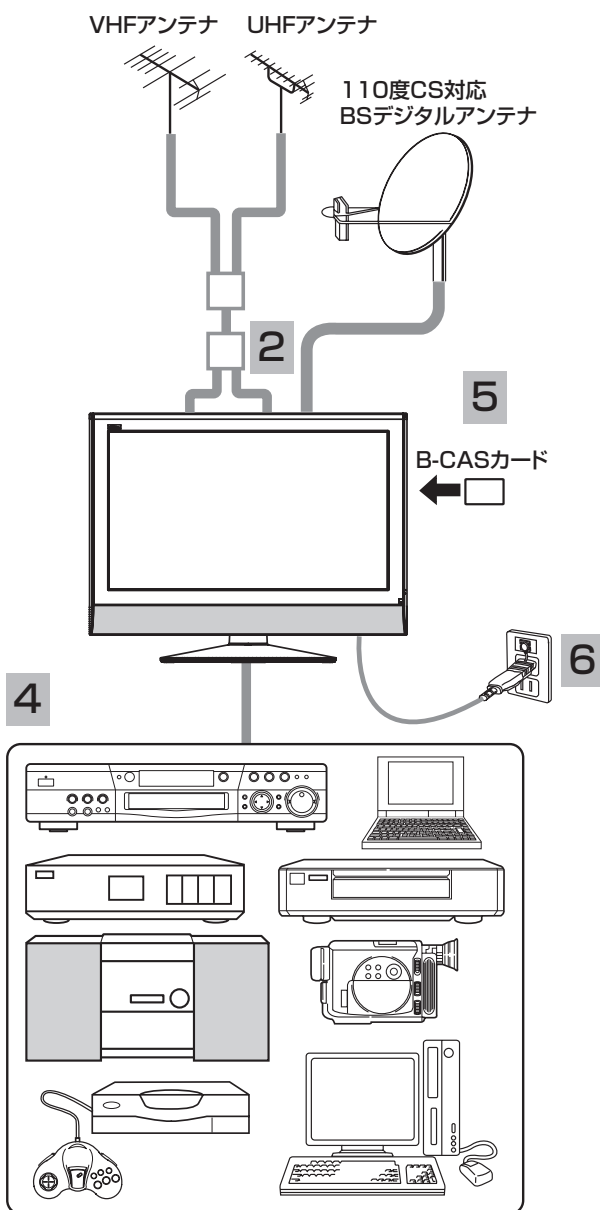
本体　後面

1

44 電源コードコネクター

2

3

設置と準備の進めかた

重要 本機の設置やアンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。（設置・準備費用については、お買上げの販売店にご相談ください。）

ご自分で設置と準備をされるときは、下記の順番で作業してください。

1 付属品を確認し、リモコンに電池をいれます 23

2 アンテナ線と本体を接続します 24

3 電話回線、LAN インターフェイスを接続します 27 , 28

4 お手持ちの機器を接続します 31
- ■ ビデオ、DVD レコーダーなどの録画機器 32
- ■ ビデオカメラ 33
- ■ 画面を見ながらテープ編集したいとき 34
- ■ DVD プレイヤー 35
- ■ ゲーム機と接続 36
- ■ デジタル音声入力端子付きオーディオ機器 37
- ■ オーディオ機器 38
- ■ パソコン 39
- ■ CATV ホームターミナル 41
- ■ IR コントローラー 42

5 B-CAS カードを挿入します 43

6 電源プラグをつなぎます 44

7 電話回線、ISP(プロバイダー)、LAN を設定します 52

8 お住まいの地域に合わせて受信設定をします 65 , 76

9 ダウンロード設定 86 、IR コントローラの設定 87をします

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル放送を受信するには、下記の要件がすべて整っていることが必要です。

1. 受信地点は、すでに放送地域になっていますか？
関東・中京・近畿の三大都市圏では、2003 年 12 月から放送開始されています。その他の地域では、2006 年末までに順次、放送開始される予定です。地上デジタル放送の受信エリアのめやすは、総務省またはお近くの地方総合通信局にお問い合わせください。

2. UHF アンテナは、地上デジタル放送に対応していますか？
UHF アンテナには全帯域型と帯域専用型がありますので、全帯域型または地上デジタル放送対応型をご使用ください。

3. UHF アンテナは、地上デジタル放送の送信塔の方向に向いていますか？
現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が地上アナログ放送と同じ方向の場合は、そのままの向きで地上デジタル放送を受信できますが, 送信塔の方向が違う場合は、アンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更する必要があります。

4. 地上デジタル放送受信機の入力信号は、所要の信号強度がありますか？
地上デジタル放送は、現在のアナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さな出力で放送されますので、受信エリアが限定されます。また、受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

●ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でご視聴の方は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。
●地上デジタル放送を受信するためには、最初に「地域設定」76 の設定と「初期サーチ」79 の操作が必要です。

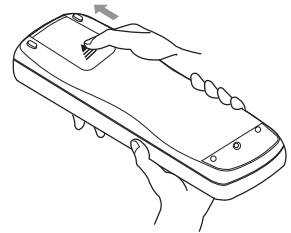
リモコンの取り扱い

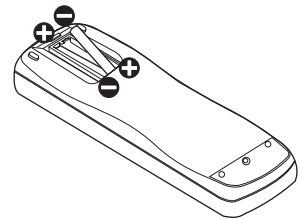
⚠注意

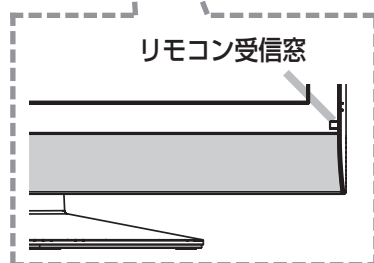
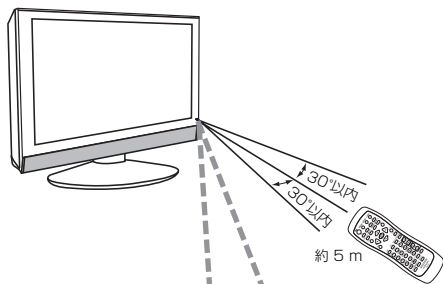
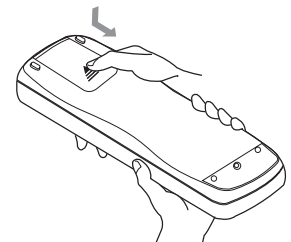
乾電池の使用上のご注意

●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

1 電池ぶたをはずす

矢印の方向に押しながら引いて開けます。

2 乾電池を入れる

付属の単４形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。

●リモコンは、本機のリモコン受信窓に向けて操作します。
●リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約５メートル、左 30 度、右 30 度の範囲内でお使いください。

お守りください **リモコンの使用上のご注意**

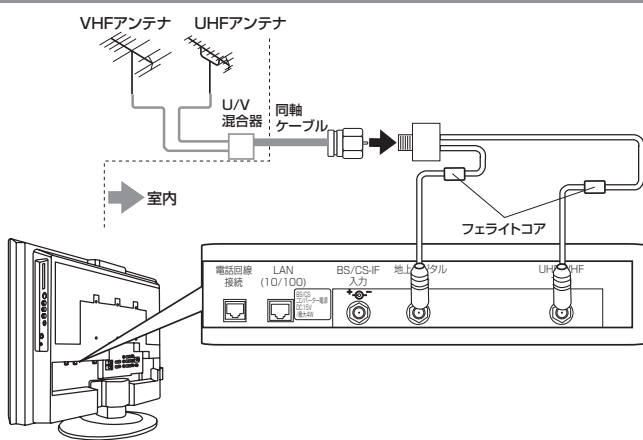
●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
●リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。
●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。

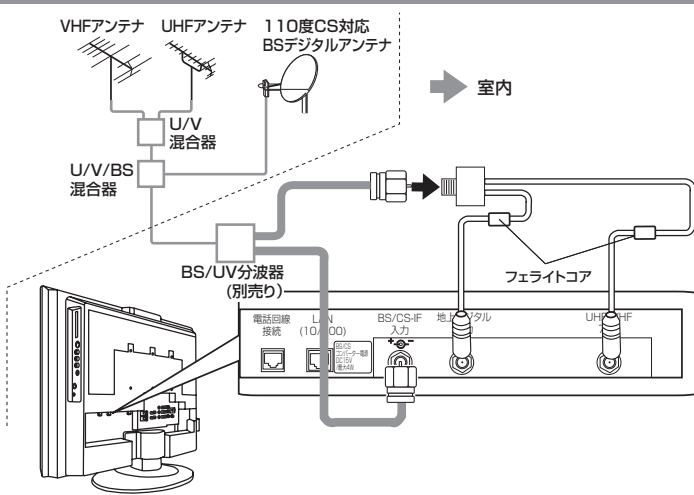
アンテナ線と接続する

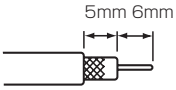
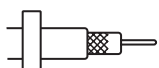
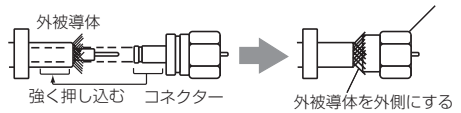
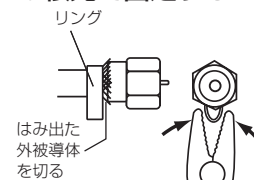
⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

①アンテナの種類に応じ、下図の要領で UHF/VHF 混合アンテナ端子に接続してください。
②地上デジタル放送を受信するときは、UHF アンテナを使用します。VHF アンテナでは受信できません。また、現在お使いのアンテナが UHF アンテナでも、調節や取り替えが必要な場合もありますので、その際は、販売店にご相談ください。
③本機の UHF/VHF 混合アンテナ端子への接続に別売りの U/V 混合器やアンテナアダプターを使用する場合は、できるだけモニターより離して接続してください。
④ VHF/UHF アンテナが独立のときなど、混合器の取り付けが必要な場合は、販売店にご相談ください。
⑤ CATV ケーブルと接続するときは、伝送方式や接続について詳しくは CATV 会社にお問い合わせください。

VHF/UHF アンテナの接続

VHF/UHF アンテナが混合のとき

① アンテナ 2 分配器の RF ケーブルを UHF/VHF 混合アンテナ端子と地上デジタル入力端子それぞれに接続する。
② U/V 混合器の出力またはお部屋のアンテナ端子とアンテナ 2 分配器（付属）の IN 端子を同軸ケーブル線で接続する。

BS・CS が混合のとき（例：VHF/UHF/BS 混合入力）

① アンテナ 2 分配器の RF ケーブルを UHF/VHF 混合アンテナ端子と地上デジタル入力端子それぞれに接続する。
② BS/UV 分波器の UV 出力とアンテナ 2 分配器（付属）の IN 端子を同軸ケーブル線で接続する。

お守りください

アンテナ線接続時のご注意
●アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。（平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、画面にしま模様が現れたりします。）
●やむを得ず平行フィーダーを使用する場合は、モニターよりできるだけ離してください。
●室内アンテナも妨害電波を受けやすいので、お避けください。
●アンテナ線に対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

メ　モ
フェライトコア（付属）について
付属の RF ケーブルには、フェライトコアを巻き付けて接続してください（25 をご覧ください）。フェライトコアを巻き付けることにより、弱電界時での妨害電波を抑制できます。

F 形接栓（別売り）の接続

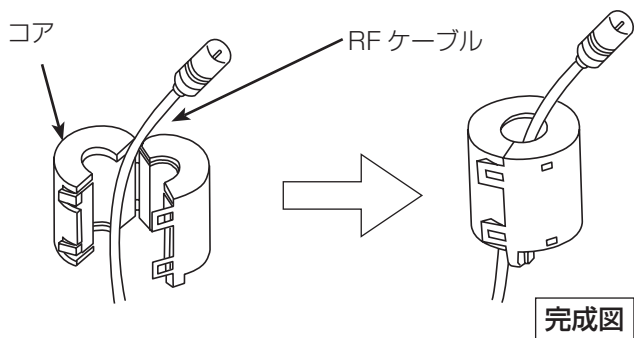
1 **先端を加工する**

2 **リングを通す**

3 **コネクター先端部を外被導体内側に差し込み、強く押し込む**

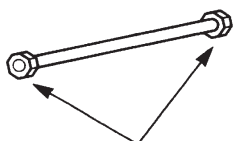
4 **ペンチなどを使い、リングをコネクターの根元で固定する**

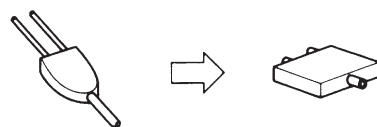
フェライトコアの使いかた

コアを開いた状態でアンテナ線を通し、コアを閉じます。

きれいな映像を楽しむために

きれいな映像をお楽しみいただくには、アンテナ線や各種ケーブル類の接続状態が非常に大切です。

●アンテナ線は同軸ケーブルに F 形接栓を接続して使用することをおすすめします。

同軸ケーブル（別売り）

F 形接栓（別売り）

●別売りの BS/UV 分波器・分配器はシールドタイプの使用をおすすめします。

プラスチックタイプ（別売り）　**金属シールドタイプ（別売り）**

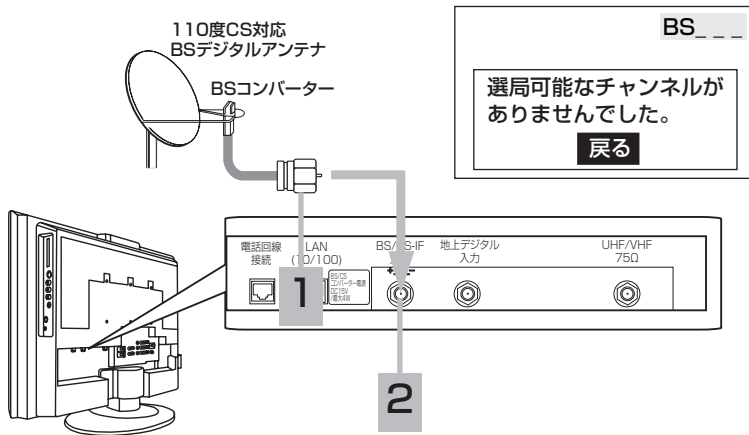
CATV ケーブルと接続するときの地上デジタル放送受信について

CATV には、以下のような地上デジタル放送の伝送方式があります。詳しくは、CATV 会社にお問い合わせください。

伝送方式	本機の対応
トランスモジュレーション方式	UHF 帯の地上デジタル放送をケーブルテレビ局の電波に変換して伝送します。本機のアンテナ端子に接続しても地上デジタル放送を受信できません。CATV のホームターミナルと接続してください。(41 をご覧ください)
同一周波数パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を変換しないでそのまま伝送します。本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。
周波数変換パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を CATV で伝送可能な別の周波数に変換して伝送します。本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。

アンテナ線と接続する

BS/CS アンテナ線の接続

接続するときには安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。下記メッセージが表示される場合は、テレビの電源を切ってから 110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナを確認し、もう一度電源を入れてください。現象がなおらない場合は、「アンテナ電源設定」83 を「オフ」に設定して、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 BS/CS アンテナ線の同軸ケーブルを F 形接栓（別売り）に接続する

UHF, VHF, BS が混合されているときには、BS/UV 分波器 (別売り) が必要です。25

2 F 形接栓 (別売り) を BS/CS-IF 入力端子に接続する

BS/CS-IF 入力端子は、BS コンバーターからの信号を受けるための端子です。また、この端子から BS コンバーターに DC ＋ 15V を供給します。BS アンテナ線を接続するときには必ずテレビの電源を切ってください。

⚠注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

お守りください

●共聴受信等で視聴される（電源供給を必要としない）場合には、「アンテナの設定を変更する」83 をご覧になって、アンテナ電源の設定を必ず「オフ」にしてご使用ください。
●アンテナを接続するときは、安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
● BS/CS-IF 入力端子に F 形接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけすぎると本機内部が破損する場合があります。

アンテナ線の接続についてのご注意

衛星放送を分配して他の機器で (衛星放送を) 視聴する場合、分配器は必ず多端子タイプの電流通過形をご使用ください。多端子タイプ電流通過形でない場合は、アンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器で衛星放送が受信できなくなります。

お知らせ

●アナログ CS 用アンテナや従来のスカイパーフェク TV ！用アンテナ（JCSAT-3、JCSAT-4 受信用）はご使用になれなせん。110 度 CS デジタル放送を受信する場合は、110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナをご使用ください。
●ブースターや分配器をご使用になる場合は、110 度 CS 対応（周波数 2,150MHz 対応以上）であることをご確認の上、ご使用ください。従来の BS 用で周波数帯域が 1,335MHz のものや、CS 対応でも対応周波数が 1,895MHz などの 2,150MHz 未満のものをご使用になった場合、110 度 CS デジタル放送の一部もしくはすべてのチャンネルが受信できない場合があります。
●マンションなどの共同受信システムの場合で、110 度 CS デジタル放送に対応していない場合は、110 度 CS デジタル放送を受信できません。
● BS アンテナを使用する場合は、BS デジタル放送のみの受信が可能です。この場合、従来の BS アンテナのほとんどは使用できますが、一部の BS アンテナでは性能の劣化や BS デジタル放送受信に必要な性能が確保されず、BS デジタル放送を受信したとき、安定した受信ができないときがあります。このようなときは、BS アンテナ製造元のお客様窓口や、BS アンテナを購入した販売店などにお問い合わせください。

メ　モ

BS/CS アンテナ線の接続についてのお願い

● F 形接栓（別売り）をご使用ください。
●アンテナの方向調整、設置についてはアンテナの取扱説明書をご覧いただくか、お買い上げの販売店にご相談ください。

映りがよくないときには

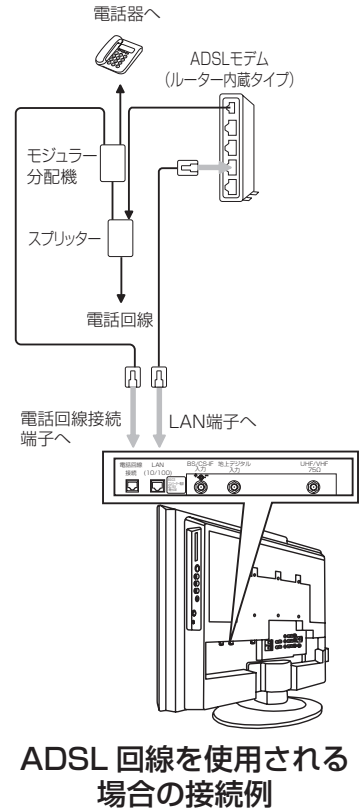
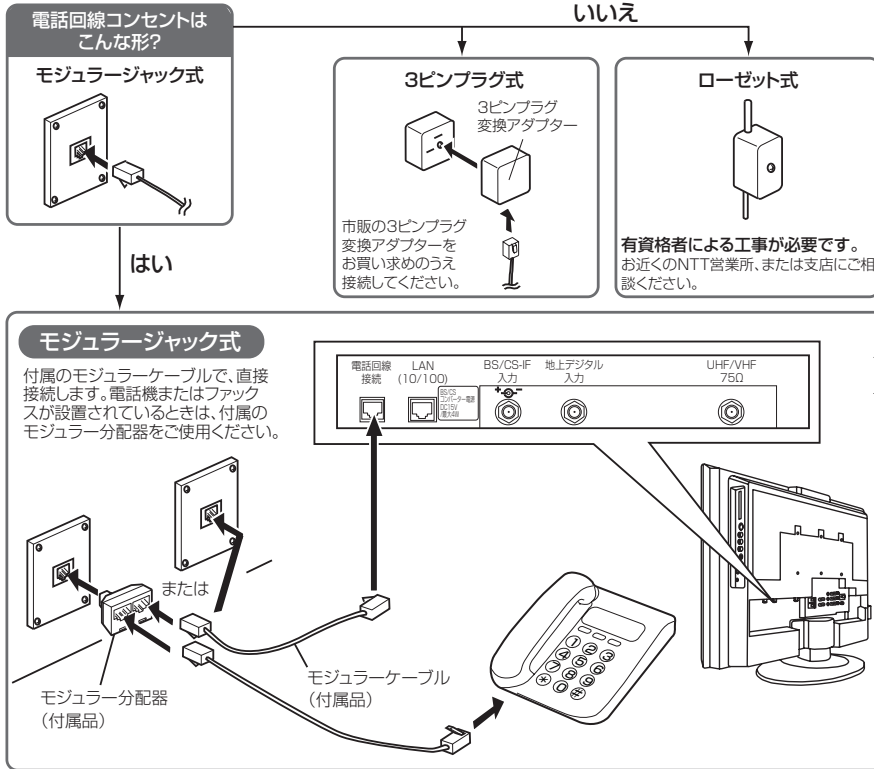
衛星放送の電波は微弱なため、受信するにはアンテナ、チューナーなどの正確な調整が必要です。もし、時々映像や音声が出なくなったりするときは販売店にご相談ください。また、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声が止まったり、ひどい場合にはまったく受信できないことがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。

電話回線と接続する

本機は、モジュラージャック式のジャックから電話回線に直接接続できるようになっています。
ご使用の電話回線コンセントがモジュラージャック式でない場合は、変換アダプターまたは工事が必要です。

ホームテレホンやビジネスホンをご使用の場合は、販売店か NTT 営業所、または支店にご相談ください。

電話回線コンセントの種類をご確認ください

ADSL 回線を使用される場合の接続例

アースとの接地

電源ノイズに対して通信の安定性向上させるなどのため、市販のアース線を使って、本機のアース端子と接地端子を接続することをおすすめします。（本アース端子は、電話通信端末機器の技術基準にもとづくものです。）

お守りください

アース接続についてのご注意

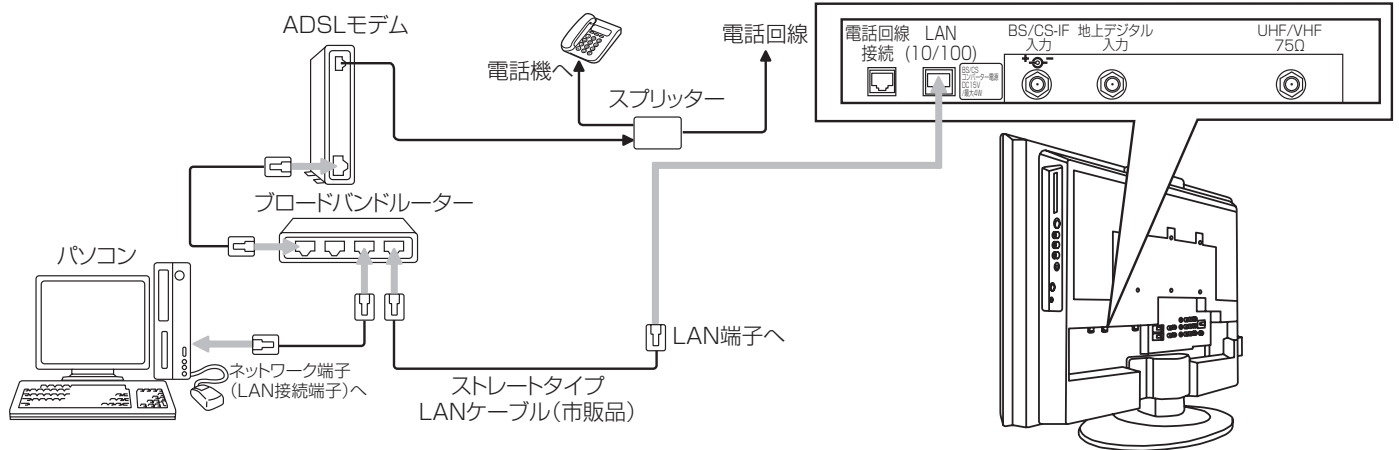
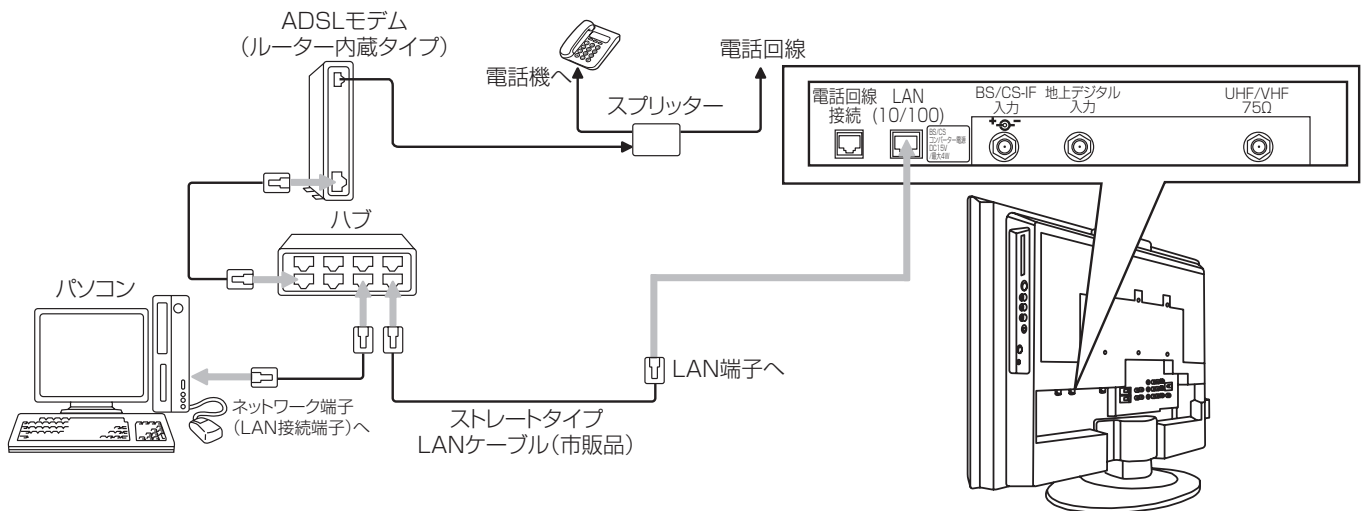
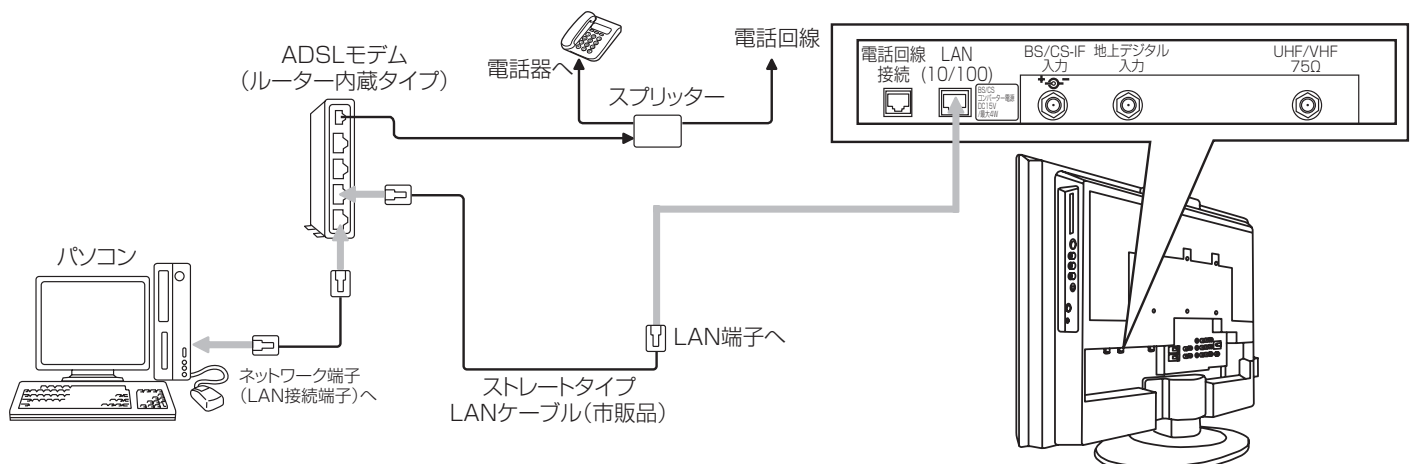
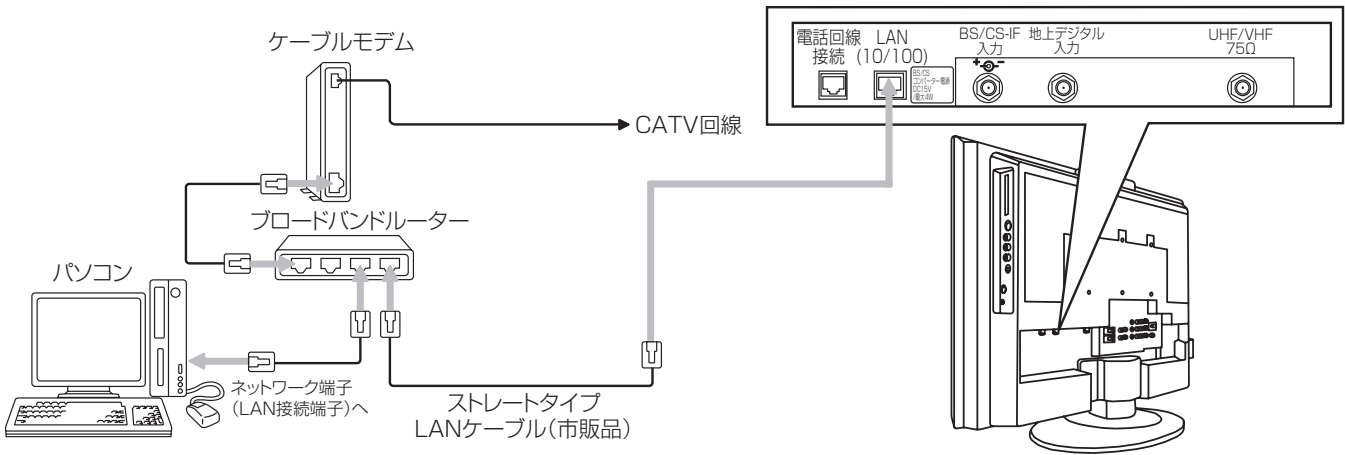
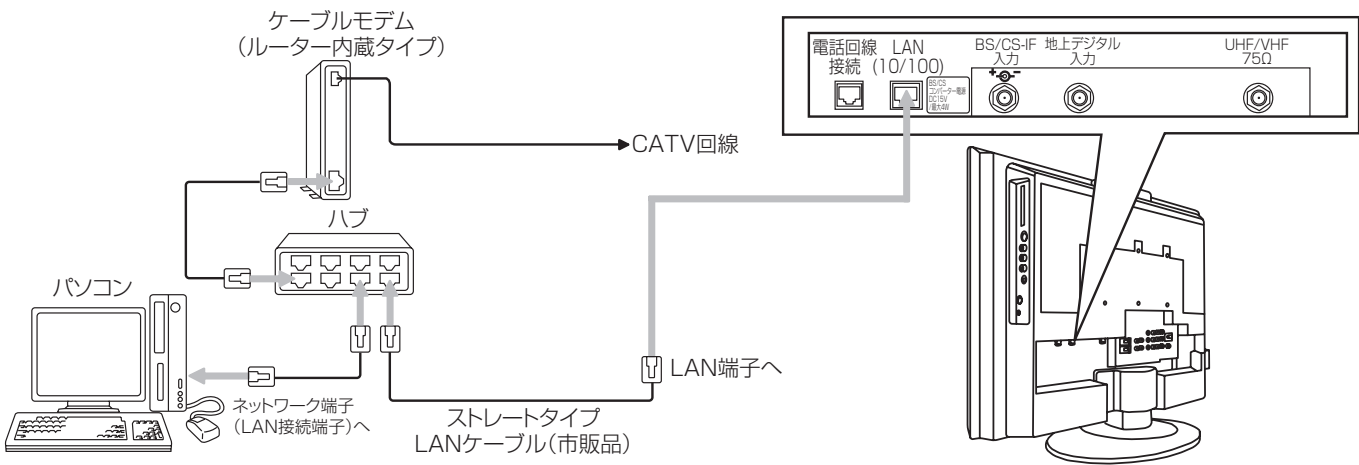
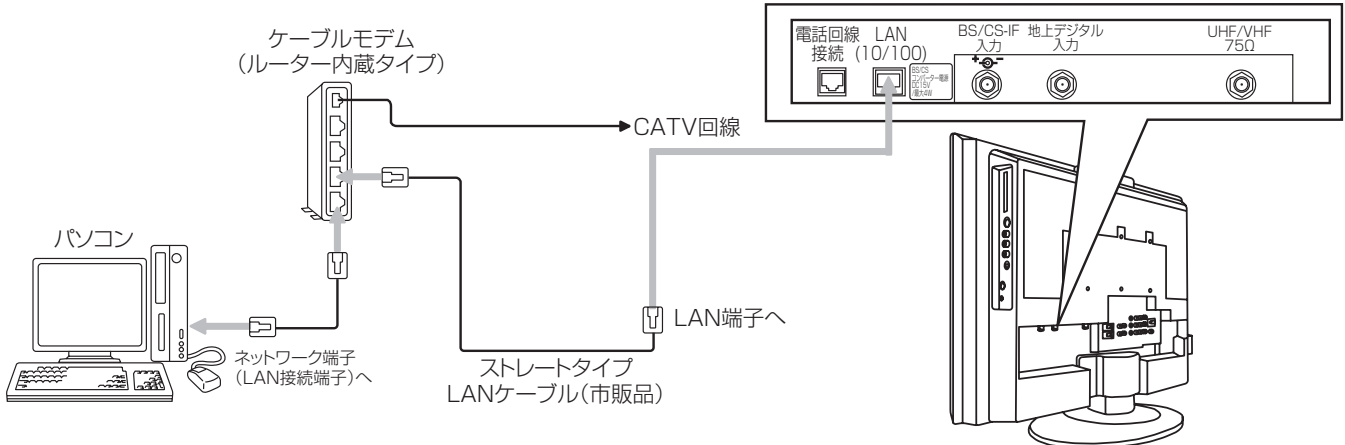
本機をアース接続する場合は、確実に行なってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

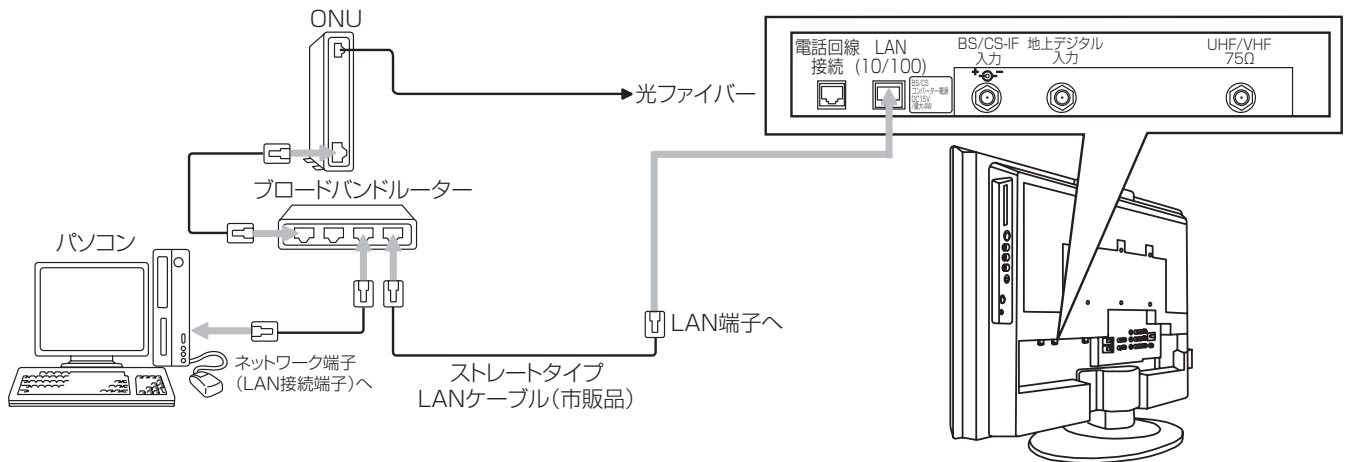
お知らせ

- ISDN 回線でご使用になる場合は、ターミナルアダプターの取扱説明書をよくご覧になってください。ターミナルアダプターの種類によっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。ADSL でご使用になる場合も、うまく通信できないことがあります。
- ADSL 回線で本機を利用する場合、本機はスプリッタの後段の電話回線側に接続してください。正しく接続しないと、正常に通信ができません。
- ADSL 回線のスプリッタを介して電話回線を分配する場合は、本機付属部分のモジュラー分配器が使用できない場合があります。その場合は市販のモジュラー分配器を使用してください。
- ケーブル電話などでは、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ケーブル電話会社にお問い合わせください。
- ６局４芯タイプの電話機の中で、NTT 仕様に準拠していない機器は、ご使用になれません。
- コードをはずすときは、プラグを持ち、ツメを押しながら抜いてください。また、プラグを差し込むときは、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- 公衆電話、共同電話、地域集団電話、自動車電話、携帯電話、PHS、船舶電話には接続できません。
- キャッチホン契約されている場合は、本機の通信中に電話がかかってくるとエラーが生じ通信が終了します。
- ファクシミリが接続されている場合は、ファクシミリの送受信中に本機が通信を行うと、ファクシミリのデータが正しく送受信できない場合があります。
- 付属のモジュラー分配器を使用して、電話機などを接続している場合、本機が通信するとき電話機から呼出音がなる場合があります。このような場合には、市販の自動転換器をご使用になることをおすすめします。

LAN インターフェースと接続する

本機では、地上デジタル放送の新しい双方向データサービスに対応するため、インターネット網に常時接続環境で接続するLANインターフェースを装備しています。
ご使用の環境に応じて、下記のように接続してください。

ADSLの場合（1）：ADSLモデム（ルーター非内蔵タイプ）との接続

ADSLの場合（2）：ADSLモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN接続端子に空きがない場合）

ADSLの場合（3）：ADSLモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN接続端子に空きがある場合）

CATV の場合（1）：ケーブルモデム（ルーター非内蔵タイプ）との接続

CATV の場合（2）：ケーブルモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがない場合）

CATV の場合（3）：ケーブルモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがある場合）

LAN インターフェースと接続する

FTTH の場合：ONU またはメディアコンバーター（ルーター非内蔵タイプ）との接続

お守りください

●電話用のモジュラーケーブルは、LAN 端子の接続には使用できません。無理に挿入すると故障の原因となります。

お知らせ

● ADSL モデムやケーブルモデムとブロードバンドルーターやハブの接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
●双方向データサービスをご利用になるときは、電話回線の接続 27 も行なってください。
地上･BS デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。
●本機はプロクシサーバーの設定には対応していません。
●本機は DNS サーバーには対応していません。
●本機でインターネット網に接続するには、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。未契約の場合は、回線業者やプロバイダーと契約してください。
●回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
●本機は、アナログモデムおよび ISDN によるダイヤルアップ接続には対応しておりません。
●本機は、10BASE-T/100BASE-TX 規格に準拠した LAN インターフェースを装備しておりますので、この規格に準拠した LAN ケーブルを使用してください。
● ADSL モデムやスプリッター、ケーブルモデム、ブロードバンドルーター、ハブ、ケーブルなどは、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約をご確認の上、指定された製品を使って、接続や設定を行ってください。
● ADSL モデムやケーブルモデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 回線業者や CATV 事業者またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
●ブロードバンドルーターに固定 IP で接続されている場合は、ISP 設定についてで「IP アドレス取得」を「手動」に選択し、必要な項目を設定してください。
●ブロードバンドルーターによっては、パソコンによる設定が必要な場合があります。このようなルーターを使用する場合は、パソコンを接続して設定を行ってください。
●本機では、アナログモデムによるインターネット接続を前提とするデータ放送サービスはご利用できません。
●本機では、一般のインターネットの Web サイトを見ることができません。

メ　モ

ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Line) について

従来の電話用メタリックケーブル上で実現される高速デジタル伝送方式の一つです。すでに一般家庭に広く普及している電話線を使って、インターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する技術であり、現在、インターネット常時接続の主流となりつつあります。

FTTH(Fiber To The Home) について

光ファイバーを家庭まで直接引き込み、超高速･広帯域の通信環境を提供するサービスのことです。2001 年から NTT 東日本･西日本が光ファイバーによる常時接続サービスの B フレッツを開始しています。CATV や ADSL を超える高速通信が可能です。

ONU(Optical Network Unit) とメディアコンバーターについて

光ファイバー加入者通信網における、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するための装置で、加入者宅に設置されます。

お手持ちの機器と接続する

お守りください

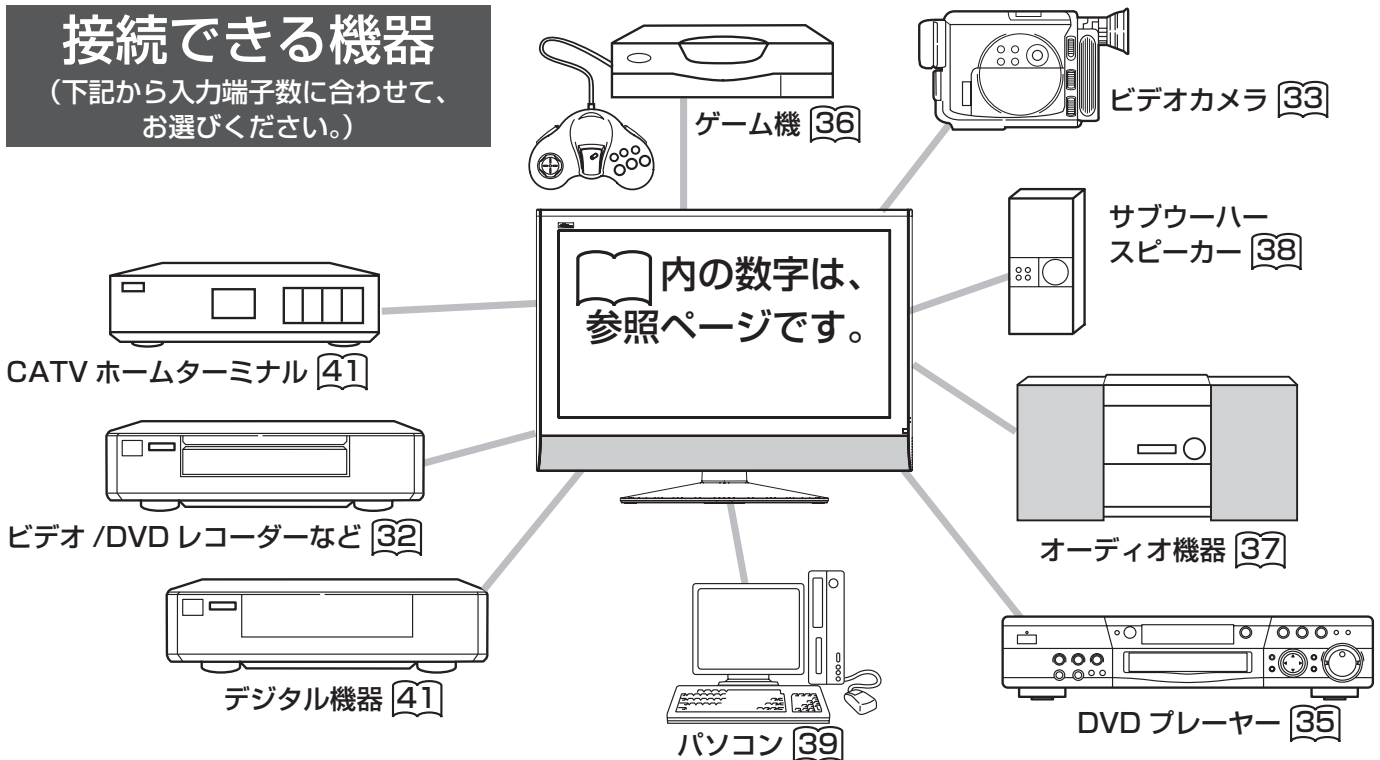
接続時のご注意

●他の機器と組み合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みください。
●接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
●他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
●接続する他の機器、接続コードおよびアンテナ線が、テレビの画面または画面の後面に配置されますと、映像がゆれたり妨害を受ける恐れがあります。接続機器、接続コードおよびアンテナ線は上記の配置を避けてください。特にアンテナ線は、フェライトコアをご使用いただき他の接続ケーブルからもはなすように配置してください。

接続できる機器

（下記から入力端子数に合わせて、お選びください。）

📖内の数字は、参照ページです。

ゲーム機 36
ビデオカメラ 33
サブウーハースピーカー 38
CATV ホームターミナル 41
ビデオ /DVD レコーダーなど 32
オーディオ機器 37
デジタル機器 41
DVD プレーヤー 35
パソコン 39

システムアップに必要な接続コード（別売り）

これらと同等のコードが相手側の機器に付属している場合には、新しく購入される必要はありません。

●映像・音声信号入出力接続コード VS-120G(コード長 2m)

主に Hi-Fi ビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

●映像・音声信号入出力接続コード VS-315G(コード長 1.5m)

主にモノラルビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

●映像信号入出力接続コード VS-220G(コード長 2m)

主にビデオの映像入出力端子との接続に使用します。

● RGB 接続コード (一般市販品)

PC 入力端子とパソコンの接続に使用します。

●音声信号入出力接続コード AR-115G(コード長 1.5m)

主に Hi-Fi ビデオの音声入出力端子との接続、ステレオ装置との接続に使用します。

● D 端子ピンケーブル TP-CDP01(コード長 1.5m)

DVD プレーヤーのコンポーネントビデオ出力との接続に使用します。

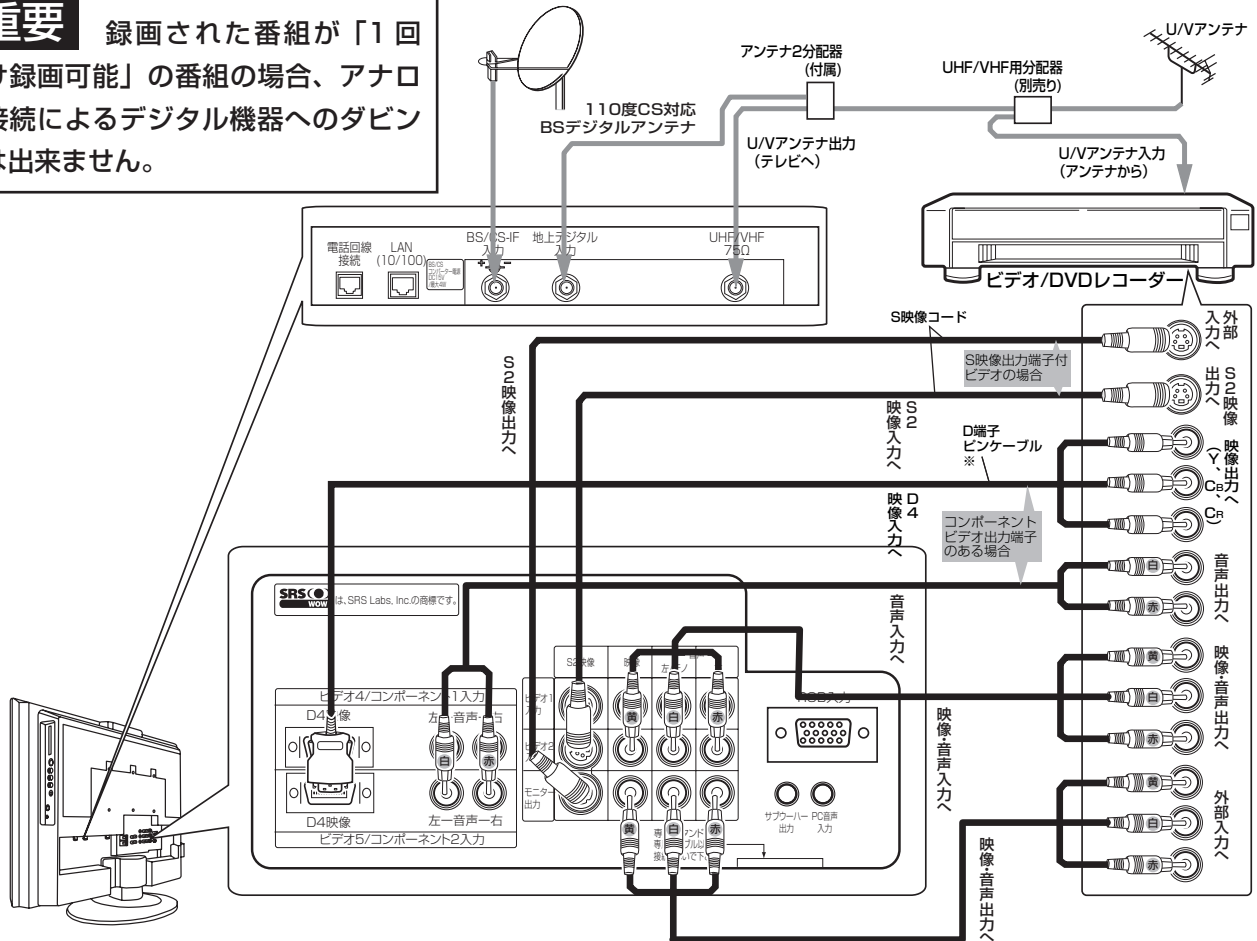
● D 端子ケーブル TP-CDD02(コード長 1.5m)

D 端子対応機器や将来実用化予定のデジタル機器との接続に使用します。
詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

お手持ちの機器と接続する

ビデオ、DVD レコーダーなどの録画機器と接続する

S 映像出力端子付のビデオをご使用のときは、S 映像コードで接続されることをおすすめします。より良い画質でビデオを楽しめます。
また、IR コントローラー機能 87 により録画予約が簡単に行えます。

重要 録画された番組が「1 回だけ録画可能」の番組の場合、アナログ接続によるデジタル機器へのダビングは出来ません。

お知らせ

●接続時は必ず各機器の電源を切ってください。（接続コードは別売り）
●アンテナ線は本機とビデオ両方に接続します。受信方式などの違いによって、接続のしかたが異なりますので、詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
●録画予約をするときは、117 をご覧ください。
●「IRコントローラーと接続する」42 と、「IRコントローラーを設定する」87 を行ってください。
※ D 端子ピンケーブルは別売品（TP-CDP01［1.5 m］）をお求めください。

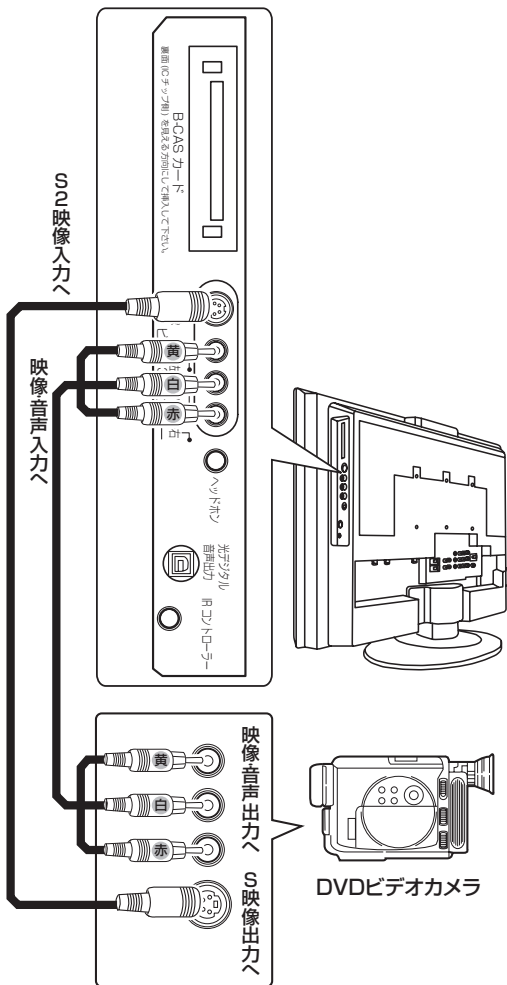
マクロヴィジョンについて
別売りのデジタルチューナーなどの映像をビデオ、DVD レコーダーなどの録画機器を通して入力すると、著作権保護技術によって、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合は、録画機器を通さずに、本機のビデオ入力端子に直接接続してください。

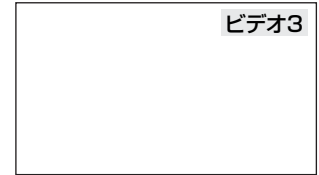
メモ

モニター出力端子について
●デジタルチャンネル固定「しない」時は、画面に映っている映像・音声を出力しますが、録画または予約録画時は、録画している番組の映像・音声が出力されます。126
デジタルチャンネル固定「する」時は、デジタル放送の映像・音声が出力されます。
●番組表、データ放送画面は出力されません。
●コンポーネント入力は、モニター出力端子からは出力されません。
●ゴースト低減された映像は、モニター出力端子からは出力されません。

S2 映像端子について
明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2 映像入力端子と映像入力端子が両方接続されている場合は、S2 映像が優先されます。本機はフルモード制御信号の入った映像が、ビデオ 1, 2, 3 の S2 映像入力端子より入力されるとワイドモードは自動的にワイド画面一杯に表示されます。

モニター出力の「S2 映像」端子について
ビデオ 1, 2, 3 の「S2 映像入力」と、デジタル放送の信号が出力されます。

ビデオカメラと接続する

1 入力切換ボタンで「ビデオ 3」を選択する

画面に「ビデオ 3」の表示が出ます。

2 ビデオカメラを操作する

メモ

S2 映像端子について

明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2 映像入力端子と映像入力端子が両方に接続されている場合は、S2 映像が優先されます。

お手持ちの機器と接続する

画面を見ながらテープ編集したいとき

S2映像入力へ

映像音声入力へ

映像音声出力へ

S映像出力へ

DVDビデオカメラ

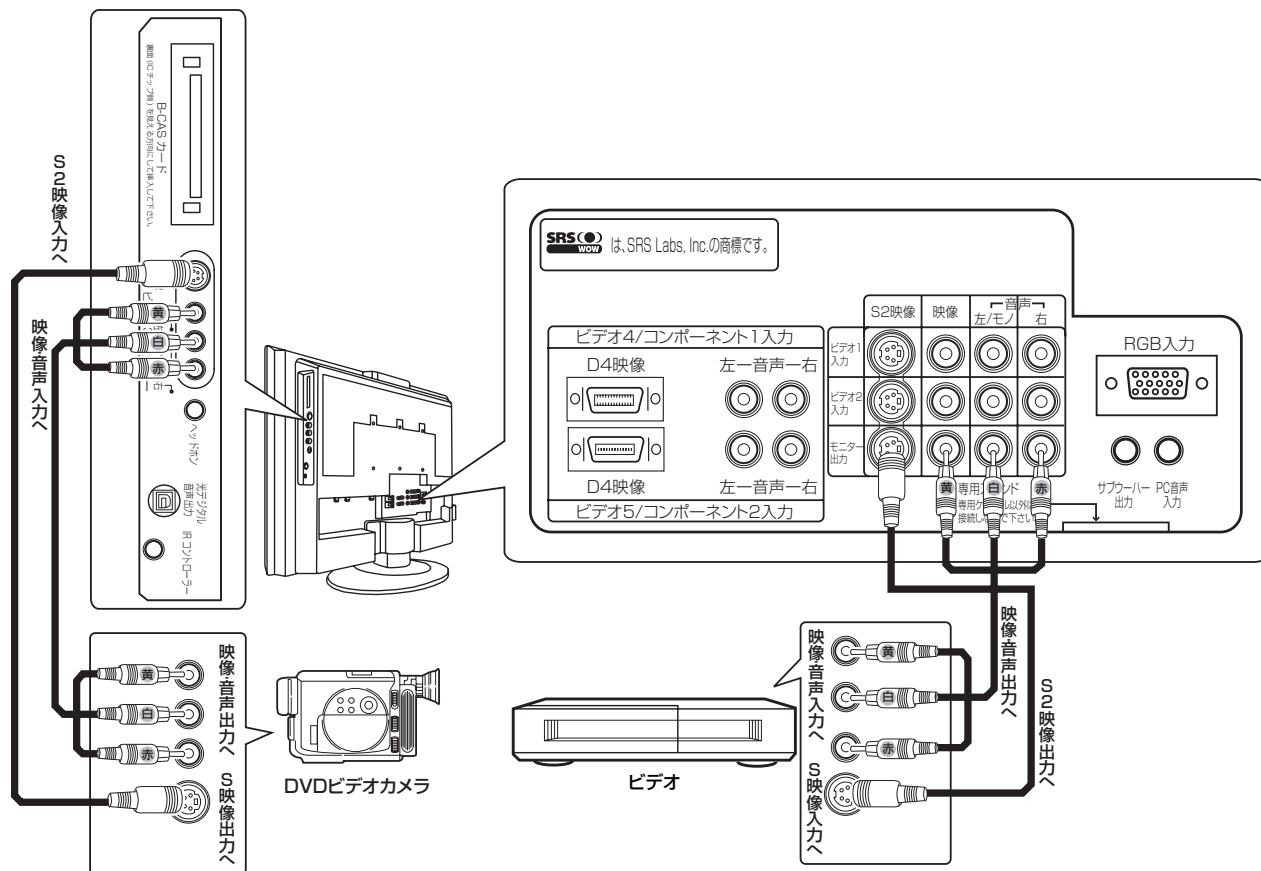
ビデオ

映像音声入力へ

S映像入力へ

映像音声出力へ

S2映像出力へ

は、SRS Labs, Inc.の商標です。

メモ

●ビデオの録画状態の設定については、お手持ちのビデオの取扱説明書をご覧ください。

●モニター出力を使用して録画する場合は、録画中に入力切り換え、チャンネル切り換えをしないでください。

モニター出力端子について

●コンポーネント入力時の映像と音声は、モニター出力端子からは出力されません。

●モニター出力は画面に映っている映像・音声を出力しますが、ワイド処理された信号は出力されません。

●録画または予約録画時は、録画している番組の映像・音声が出力されます。

●ゴースト低減された映像は、モニター出力端子からは出力されません。

●モニター出力のS2映像出力は、デジタル放送やビデオ1, 2, 3端子に入力したS2映像をご覧になっているときに出力されます。

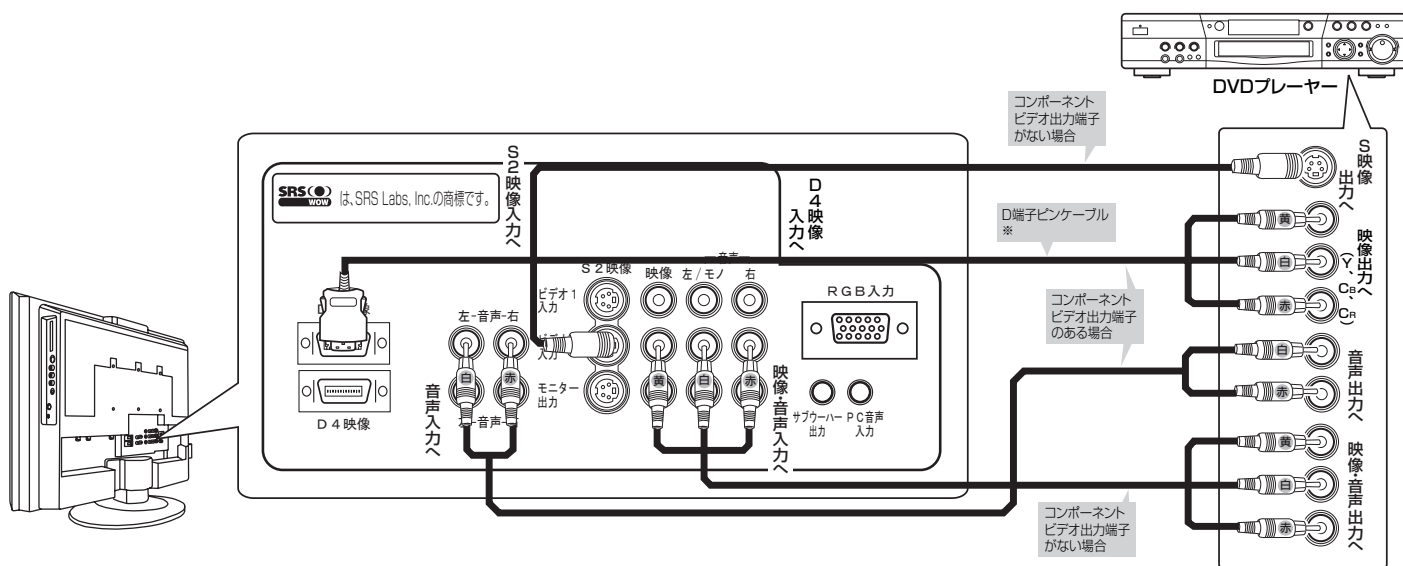
1 入力切換ボタンで「ビデオ 3」を選択する

ビデオ 1、ビデオ 2 入力に接続された機器を編集するときは,「ビデオ 1」「ビデオ 2」を選択する。

2 ビデオを外部入力に合わせる

詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

3 ビデオを録画状態にする

DVD プレーヤーと接続する

メモ

S2 映像端子について

明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2 映像入力端子と映像入力端子が両方に接続されている場合は、S2 映像が優先されます。

コンポーネント入力端子について

●コンポーネント入力端子（D4 映像）は DVD プレーヤーおよび将来実用化予定のデジタル機器のコンポーネント映像信号（525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750P（720P）信号）を接続できます。1125i（1080i）、750P（720P）信号を入力時は、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換えます。

●コンポーネント入力の映像と音声はモニター出力端子に出力されません。

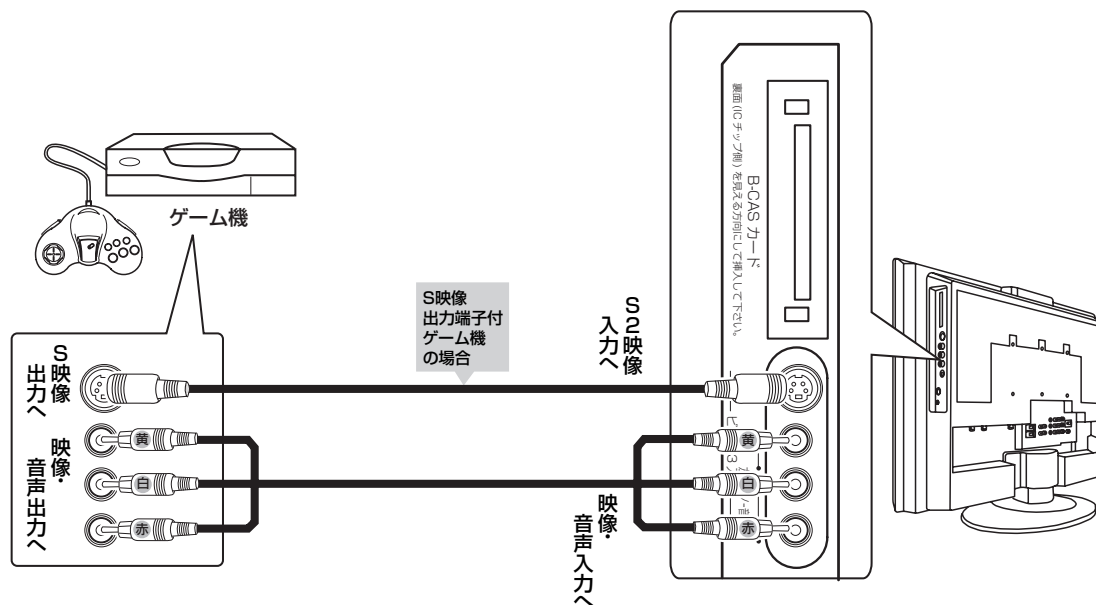
※ D 端子ピンケーブルは別売品（TP-CDP01 ［1.5m］）をお求めください。

1 入力切換ボタンで「ビデオ 2」を選択する

ビデオ 4 入力に接続したときは「ビデオ 4」にします。

2 DVD プレーヤーを操作する

お手持ちの機器と接続する

ゲーム機と接続する

1 テレビゲーム本体とビデオ 3 入力端子を接続する

2 入力切換ボタンで「ビデオ 3」を選ぶ

ビデオ3

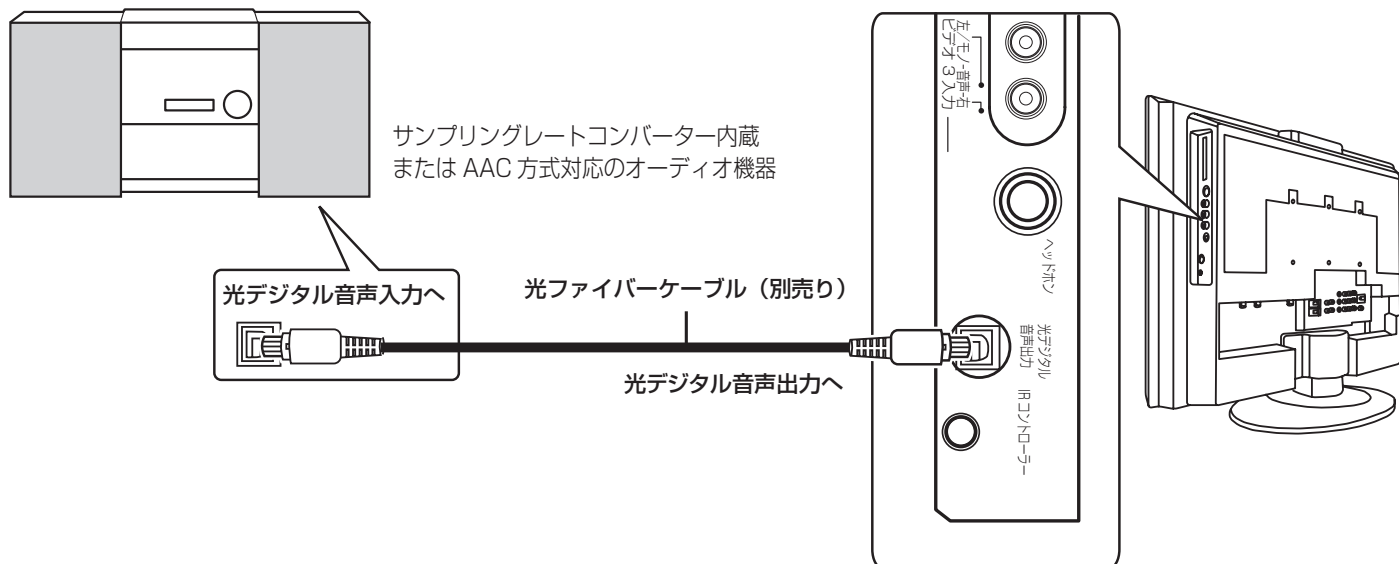
テレビまたはデジタルチャンネルに戻すときは、チャンネルボタンを押します。

3 ゲーム機を操作する

お知らせ

- ●ゲームの種類･内容によっては、画面が欠ける場合があります。
- ●ライフルタイプやガン（銃）タイプのコントローラを使用するシューティングゲームなどは、本機では使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトおよびコントローラの取扱説明書をご覧ください。

デジタル音声入力端子付きオーディオ機器と接続する

本機の光デジタル音声出力端子に、デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器を接続することができます。
また、本機は MPEG-2 AAC 方式で出力することもできるので、AAC 方式対応のオーディオ機器にも接続できます。

お知らせ

- 本機の光デジタル音声出力端子はフタでふさがっていますが、ドアのようになっています。光ファイバーケーブルのプラグ部を持って、そのままゆっくりと端子にまっすぐに差し込んでください。
- 本機は、放送局側の音声サンプリング周波数に対応した光デジタル音声信号を出力します。このため、接続できる機器は、サンプリングレートコンバーターを内蔵したアンプや MD レコーダーなどに限定されます。
- デジタル番組（AAC）は音声切換ボタンを押しても、光デジタル音声出力の音声は変わりません。
- 地上アナログ放送やビデオ入力をご覧になっているときには、光デジタル音声は、ご利用になれません。
- 録画予約実行中は、光デジタル音声はご利用になれません。

メ　モ

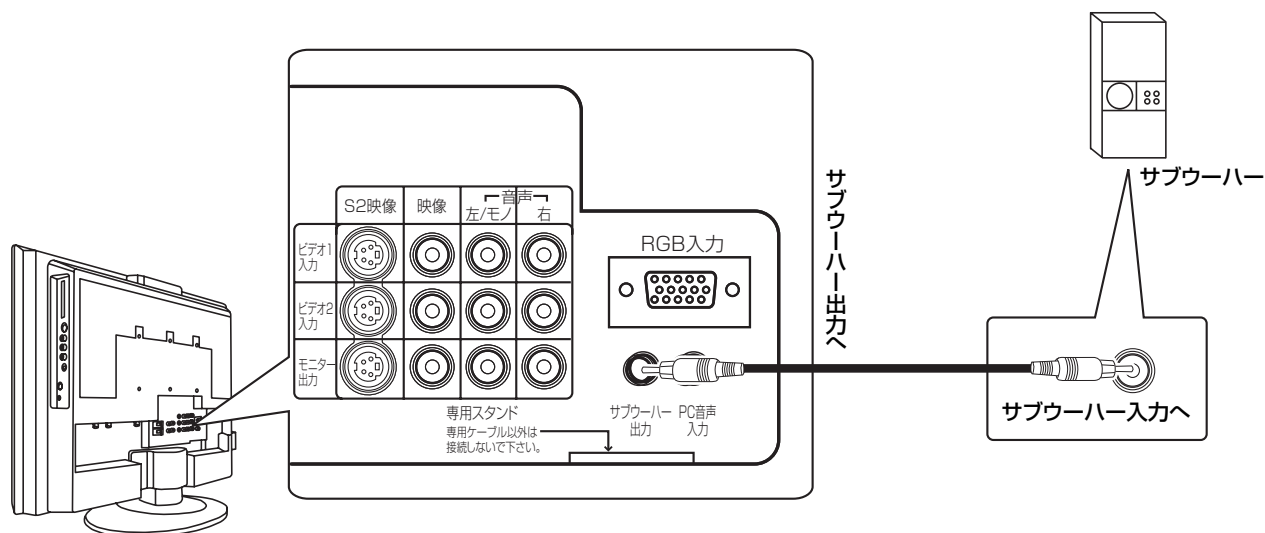
AAC（Advanced Audio Coding）について

AAC とは、音声符号化の規格の一つです。AAC は、CD（コンパクトディスク）並の音質データを約 1/12 にまで圧縮できます。また、5 チャンネル＋低域強調チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

お手持ちの機器と接続する

オーディオ機器と接続する

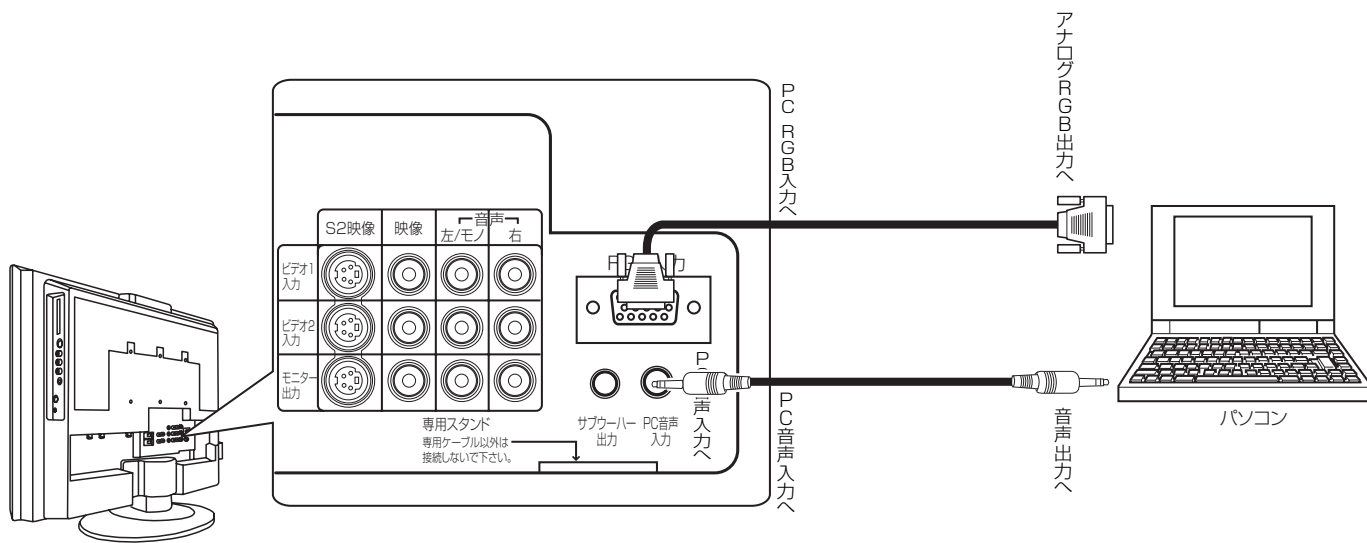
サブウーハーを接続することにより、迫力ある音声を楽しむことができます。

サブウーハー出力は本機により音量、音質など調節された低音を出力します。
アンプ内蔵のサブウーハーを接続してください。

お知らせ

●サブウーハーなどの接続方法は、その機器の取扱説明書をご覧ください。
●ヘッドホン端子 (20) にヘッドホンを接続した場合、本体のスピーカーの出力はオフになりますが、サブウーハーの出力はオフになりません。
ヘッドホンをご利用になる場合は、サブウーハーの設定 130 を「切」にしてください。

1 本機で音量を調節する

接続したサブウーハーの音量は、本体のスピーカー音量に合せて固定してください。
音量調節などは本機で行えます。

パソコンと接続する

お知らせ

モニター出力端子について
- PC 入力画面と音声はモニター出力端子には出力されません。

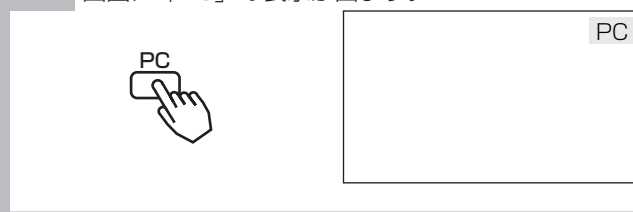
接続について
- パソコンを接続するときは、RGB 接続コード（別売り）が必要です。
  パソコンによっては、パソコンでオプション設定されている変換コネクタが必要な場合があります。
- RGB 接続コードは、接続コードに付属されたネジなどにより、本機にしっかりと取り付けることをおすすめします。
- PC（RGB）入力端子は、プラグ＆プレイには対応しておりません。接続するパソコンによっては、映像表示ができない場合があります。

プラグ＆プレイについて
- プラグ＆プレイは、パソコンと表示装置を含む周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。本機は VESA DDC 1/2B に対応しています。VESA DDC (Display Data Channel) に対応のパソコンに接続して使用すると、プラグ＆プレイを実現できます。
  接続するパソコンによっては、プラグ＆プレイが動作しない場合があります。

長時間ご使用時のご注意
- 長時間連続してご覧になると、目が疲れます。時々は画面から離れて、目を休めてください。

PC 入力画面表示について
- 同期信号が検出できなかったときは、「パソコンが接続されていません」と表示されます。
  同期信号が検出できない状態が約 10 秒間継続すると電源の表示ランプが橙色になりパワーセーブモードに移行します。
- 入力信号が本機の仕様に合わないか、不安定な状態のときは「この信号に対応していません」と表示されます。

1 「PC」ボタンで「PC」にする

画面に「PC」の表示が出ます。

2 パソコンを操作する

詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

お手持ちの機器と接続する

対応する信号について

本機は、31.5kHz ～ 60kHz の水平周波数、56Hz ～ 75Hz の垂直周波数に対応して入力を自動判別します。

推奨信号について

本機は、下記に示す推奨信号についての設定があらかじめ登録されています。

No.	信　号			水平周波数 (kHz)	ドットクロック 周波数 (MHz)
	信号名	解像度	垂直周波数 (Hz)		
1	VGA	640 × 480	59.94	31.47	25.18
2	VESA	800 × 600	56.25	35.16	36.00
3		800 × 600	60.32	37.88	40.00
4		1024 × 768	60.00	48.36	65.00
5	W-XGA	1280 × 768	59.87	47.78	79.50

●使用するビデオボードや接続ケーブルにより、正しく表示できないことがあります。この際には必ず垂直位置、水平位置、クロック、位相を調節してください。
●本機では、水平周波数、垂直周波数、水平同期信号極性、および垂直同期信号極性によって信号モードを区別します。これら全ての要素が同じかきわめて似ている場合には、異なる信号であっても同一の信号として扱われる場合がありますのでご注意ください。
●信号のばらつきなどにより画面が適正に表示されない場合、自動調節やメニュー画面で調節してください。
●パソコンの解像度、色数などの設定を変更するときは、変更後の信号が上記に適合していることをあらかじめご確認ください。
上記以外の信号に設定すると、画面が乱れたり、「この信号に対応していません」が表示されたりします。
上記以外の信号に設定して正常に表示される場合、メニュー画面での調整が正常に機能しないことがあります。
●ノートパソコンに接続して内蔵ディスプレイと同時に表示させると、パソコンによっては正常に機能しないことがあります。
●信号が切り換わるときに画面にノイズが表示されることがありますが、故障ではありません。
● 1 ～ 4 のような入力信号はワイド表示となり、実際の表示より水平方向に引きのばされて表示します。

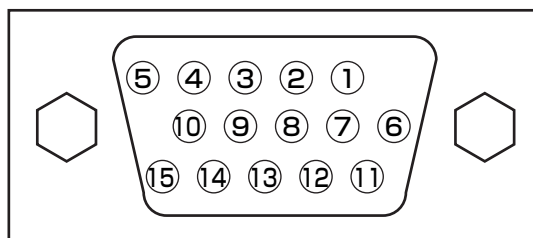
メ　モ

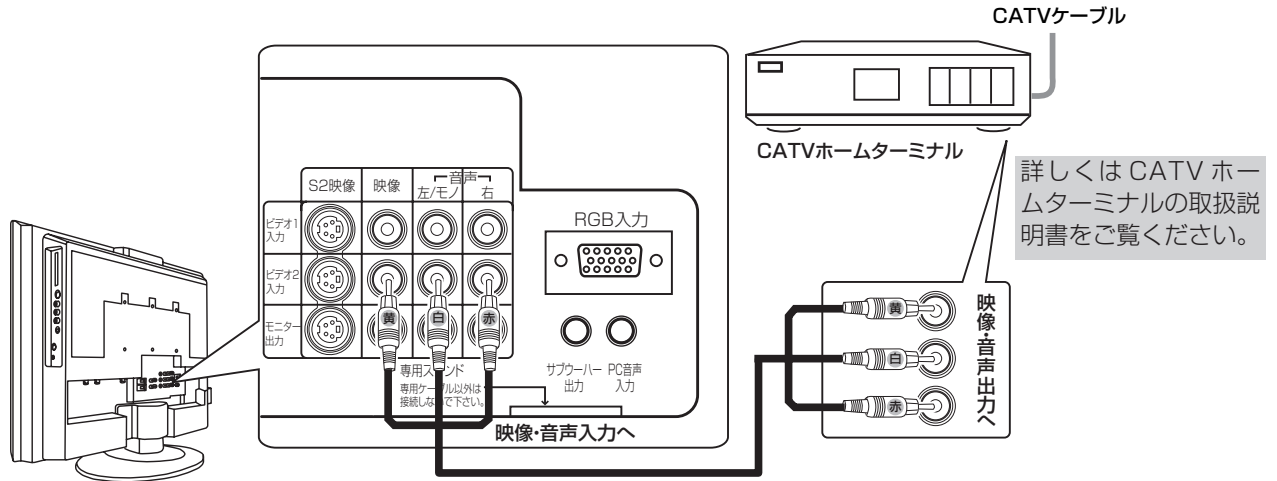
パソコンの表示位置について

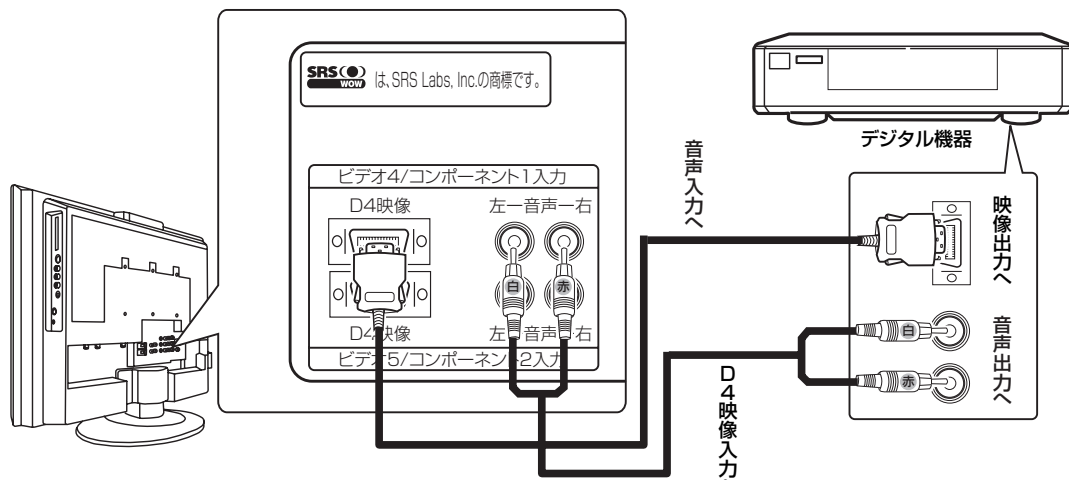
●パソコンの種類によって、信号形式が異なるため、パソコン映像の位置がずれる場合があります。「PC 入力画面の位置などをお好みに調節したいとき」を参考にして位置を調節してください。114

PC（RGB）入力端子のピン配列

ピン No.	信号
1	R ビデオ
2	G ビデオ
3	B ビデオ
4	（接続無し）
5	グランド
6	R グランド
7	G グランド
8	B グランド
9	＋ 5V（DDC）
10	グランド
11	（接続無し）
12	SDA（DDC）
13	水平同期
14	垂直同期
15	SCL（DDC）

ミニ D-Sub15 ピンコネクター

CATV ホームターミナルと接続する

CATV の受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。詳しくは、CATV 会社にご相談ください。

将来実用化予定のデジタル機器との接続

将来実用化予定のデジタル放送環境に対応したデジタル機器に接続することができます。（ビデオ 4 またはビデオ 5 に接続してください）

メ　モ

コンポーネント入力端子について

- ●コンポーネント入力端子（D4 映像）は、将来実用化予定のデジタル機器の D 映像信号を接続できます。本機は D 映像信号　の 525i（480i)、525p（480p)、1125i（1080i)、750P（720P）に対応しています。1125i（1080i)、750P（720P）信号を入力時は、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換えます。
- ●コンポーネント入力の映像と音声はモニター出力端子に出力されません。
- ●詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

1 入力切換ボタンで「ビデオ」にする

画面に「ビデオ 4」または「ビデオ 5」の表示が出ます。

2 デジタル機器を操作する

詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

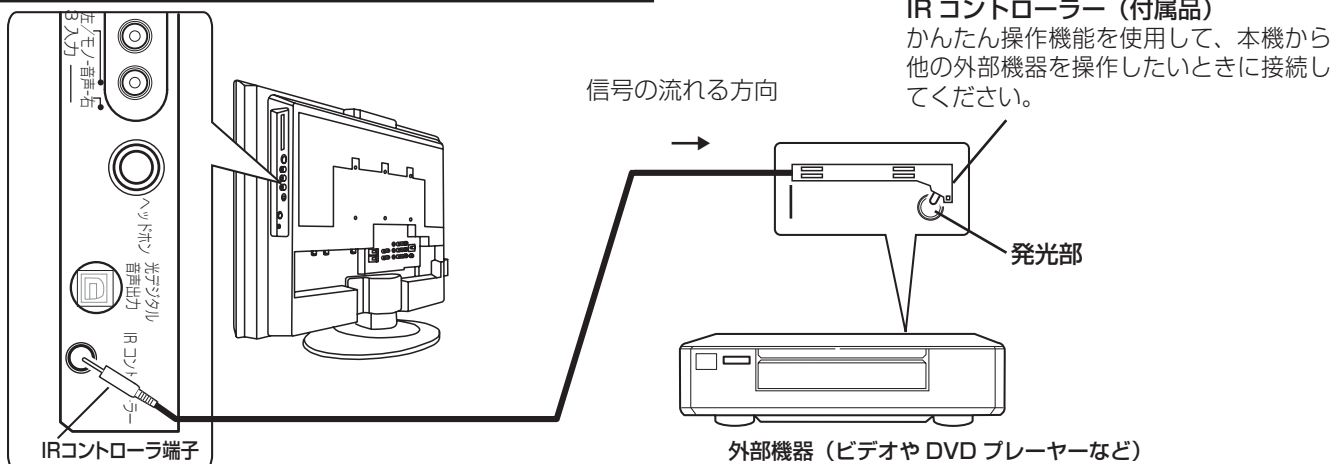
お知らせ

将来発売予定の機器との接続について

テレビ関連機器の中には現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使いかたなど、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

お手持ちの機器と接続する

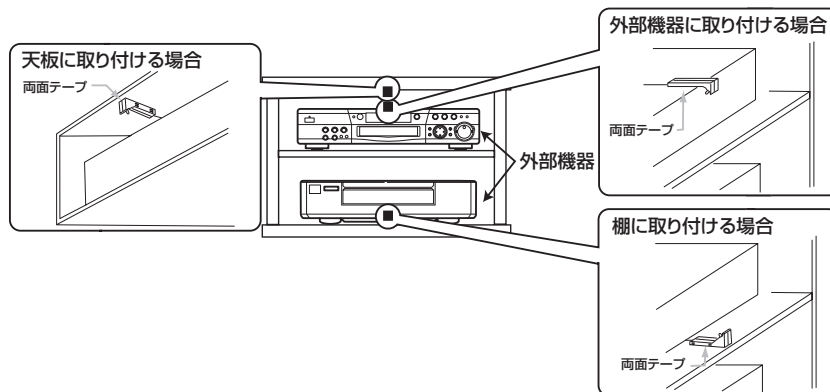
IR コントローラーと接続する

IR コントローラーの接続

IR コントローラーの取り付け

本機の IR コントローラー端子に付属の IR コントローラーを接続し、リモコン発光部を外部機器（ビデオや DVD プレーヤーなど）のリモコン受信窓に向けて設置すると、外部機器のリモコン操作を本機に向かって行うことができます。また、本機と録画機器を接続して、デジタル放送の録画予約を行うこともできます。

デジタル放送番組の録画予約を行うときは、IR コントロール設定画面 87 にしたがって録画機器とメーカーを設定してテストを行い、録画機器が確実に動作する位置を確認して IR コントローラーを取り付けます。

取り付け例

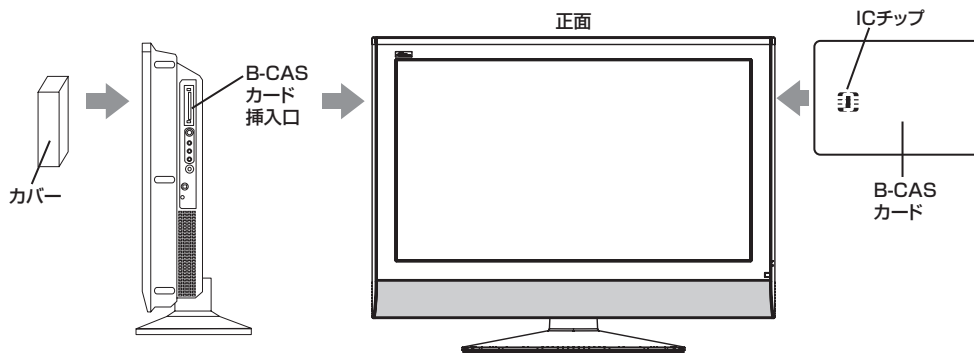
（両面テープを使用）

お知らせ

- IR コントローラーで操作できる外部機器は 2 ～ 3 台を目安にしてありますが、ご使用の外部機器のリモコン受信窓に強い光があたったり、IR コントローラーの発光部と外部機器のリモコン受信窓の位置が離れたりしていると操作できないことがあります。また、棚などのリモコン信号をさえぎるものや前面とびらの有無など AV ラックの構造によっても異なります。
- IR コントローラーは、ご使用の外部機器が確実に動作することを確認してから両面テープで固定してください。
- 両面テープは貼り付ける場所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
- 両面テープは棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますのでご注意ください。

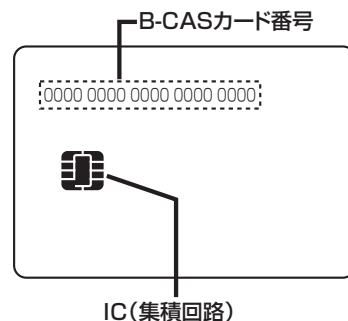
B-CAS カードを挿入する

本機に付属の B-CAS カードは、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順に従って挿入してください。

1 B-CAS カードを挿入する

カバーを取りはずし、セット正面より見て IC チップが見える側にして、B-CAS カードの矢印を挿入口方向へ合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込む。

B-CAS カードについて

本機に付属の B-CAS カードには 1 枚ごとに違う番号（B-CAS カード番号）が付与されています。B-CAS カード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。「(株)ビー･エス･コンディショナルアクセスシステム カスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となります。

本機に付属の B-CAS カードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項をご記入・押印してポストに投かんし、B-CAS カードを必ず登録してください。（登録料は無料です。）

お守りください

B-CAS カード取り扱い上の留意点

- B-CAS カードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CAS カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CAS カードの IC（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CAS カードの分解加工は行わないでください。
- B-CAS カードは上記手順をご覧のうえ、本機前面の B-CAS カード挿入口に、奥まで正しく挿入してください。B-CAS カードを正しく挿入しないと、有料放送や一部のデータ放送を視聴することができません。
- ご使用中に B-CAS カードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

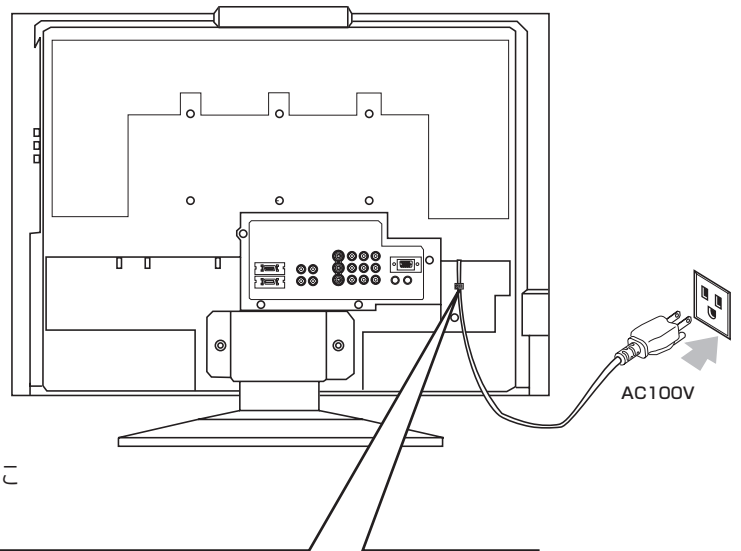
B-CAS カードを抜くとき

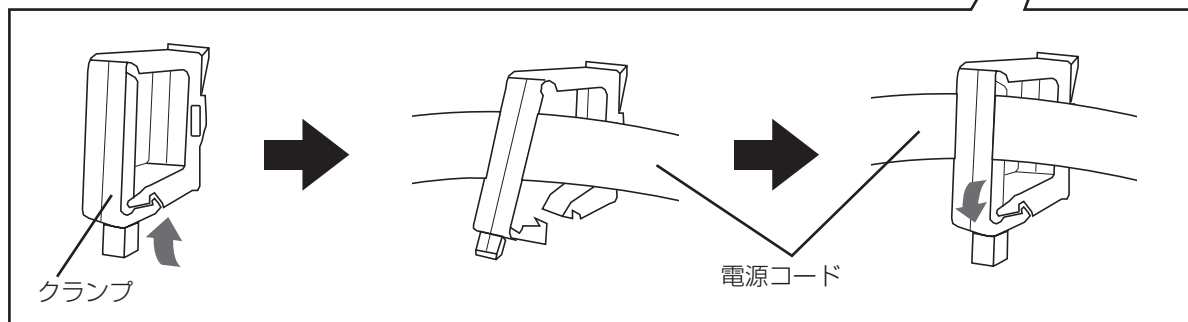
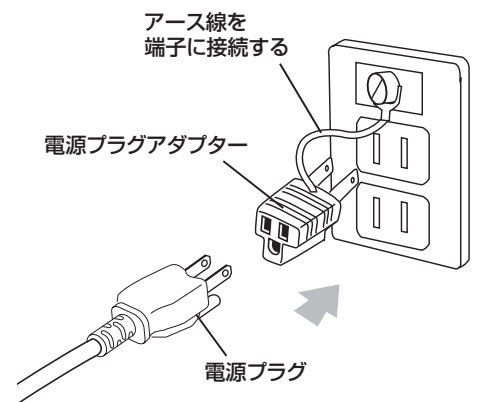
万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくり B-CAS カードを抜いてください。B-CAS カードには IC（集積回路）が組み込まれているため、画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

お知らせ

- 本機専用の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うと B-CAS カードは機能しません。
- WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、B-CAS カードの登録のほかに個別の受信契約が必要になります。詳しくはそれぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

電源プラグの接続について

① 電源コードのコネクター側を本体の後面にある電源コードコネクターに差し込む
② 電源プラグのコードをクランプに固定する
③ 電源プラグをコンセントに差し込む

電源コードの固定について

電源プラグを本体に差し込んだ後、コードをクランプに固定してください。

● 2つ穴タイプコンセントを使用の場合は付属の電源プラグアダプターをご使用ください。電源プラグアダプターをご使用の場合は、必ずアース線を接続してください。アース線の接続は、必ず電源プラグを電源に接続する前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源からとりはずしてから行ってください。

⚠警告
指定の電源電圧でご使用ください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災·感電の原因となります。

⚠注意
旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

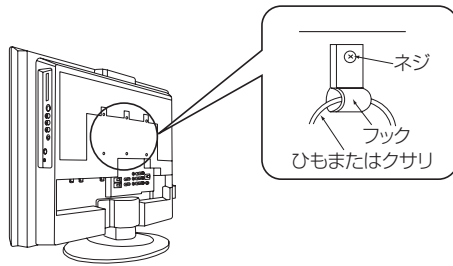
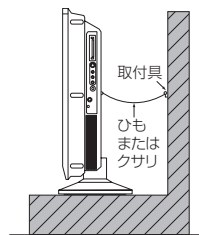
据え付けについて

転倒防止について

スタンドご使用時の転倒防止について

本機は奥行きが小さいため、大きな地震等の際には倒れる場合があります。必ず転倒防止をおこなってください。

壁または柱などに固定する場合

1 図のようにセット後面上部に付いているフックにひもまたはクサリを通してください。

2 ひもまたはクサリ、および取付具については市販品をご利用いただき、確実に支持できる壁や柱などをお選びになり、しっかりと固定してください。

※スイーベル動作させたときに、支障にならない程度にひもまたはクサリをたるませてください。

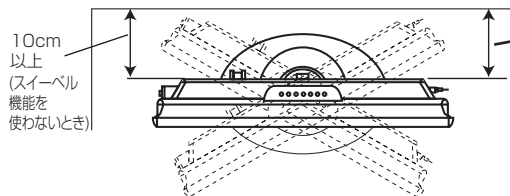
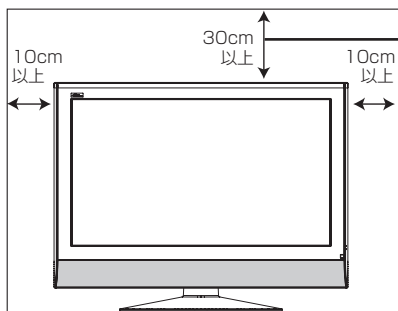
⚠注意

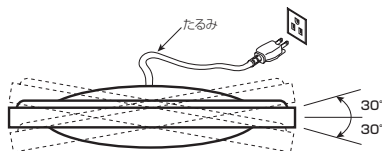
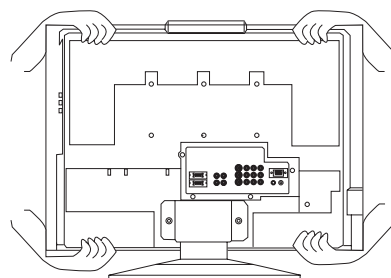
本機は安定したところに据え付けてください。また、転倒防止の処置を行ってください。
本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

据え付けについて

据え付けるときのご注意

本体の設置について

●本体の周囲は、放熱のための空間およびスイーベル時の空間を十分に確保してください。

本体の向きを変える

●本機はスイーベル機能を採用していますので、リモコンで本体を左右に回転することができます。

⚠注意

回転中に手や顔、物を近づけない。
また、必要以上の力で急激に回転させないでください。（スタンドがすべって台からはずれてしまう恐れがあります。）

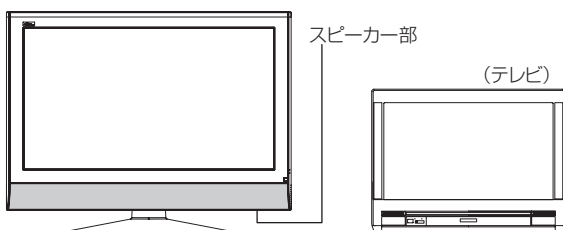
お守りください

電源コード、アンテナ線、録画機器との接続コードを接続する際は、回転に支障のないように、付属のバインダーを使用し、図のようにスイーベル台の後方で束ねてください。

設置するとき

●ブラウン管タイプのテレビをスピーカー部に近づけると、ブラウン管テレビに色むらや画面揺れが発生することがありますので離して使用してください。

移動するとき

●この商品は重量物です。移動するときは、二人作業で持ち運びしてください。
●持ち運びは、製品上側と製品下側の両端部を持って製品を保持してください。

据え付けるときのご注意（つづき）

⚠注意
本機の据え付けには性能および安全性を維持するために必ず付属のスタンドや専用のオプションユニットをご使用ください。付属のスタンドを取りはずし、別の取り付け強度が不足する部材を使用すると、転倒したり落下して火災・感電・けがの原因となります。

⚠注意
通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

●ラック、箱のような狭いところに入れないでください。
●周囲の壁などから 10cm 以上離してください(モニターを壁掛け設置する場合は除く)。但し､上部につきましては､30 ｃm以上離してください。

⚠注意
電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください。

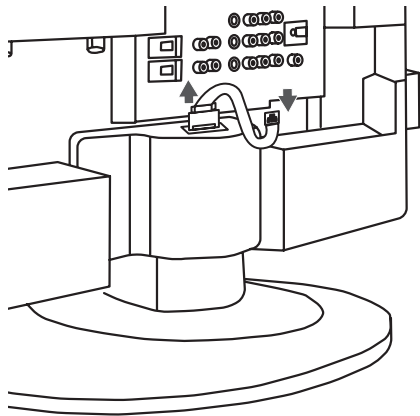
本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意
別売の専用壁掛ユニットを使用して壁に取り付ける場合は、危険ですから個人での取り付けは避け、販売店にお問い合わせの上、指定の取り付け工事業者に依頼してください。

●壁掛けでご使用になる場合は、必ず本体とスタンド間の専用接続ケーブルを外してご使用ください。

メ　モ

本体とスタンドの接続について

●本体からスタンドを取り外す場合は、必ず専用ケーブルを本体後面の専用スタンド接続端子から外してください。

●再度スタンドを取り付ける場合は、専用接続ケーブルを本体後面の専用スタンド接続端子に挿入してください。